

市民満足度調査 結果報告書

調査期間：平成25年7月1日～7月31日

京田辺市 企画政策部秘書広報課

はじめに

長引く不況によって財政状況が極めて厳しい中、地方自治体では、複雑多様化する市民ニーズを的確に把握しながら、事業の優先度・費用対効果や将来の財政負担等を総合的に勘案し、市民の視点に立った質の高い行政サービスを提供することが求められています。

こうしたことから、市は平成 23 年 2 月に、市民の皆様の市政に対する考え方や意見を伺う市民満足度調査を実施しました。このたび、前回調査から 2 年が経過したことから、社会情勢の移り変わりとともに変化する市民の皆様の考え方や意見・ニーズを伺い、今後のまちづくりの方向性や、市が重点的に取り組むべき施策の指針とするため、2 回目となる市民満足度調査を実施しました。

今回の調査では、市が平成 23 年度以降、福祉・教育・環境・産業などのさまざまな分野で進めてきた施策や事業などの取組みに対して、市民の皆様の満足度と重要度をお伺いしています。

調査結果は今後のまちづくりの貴重な基礎資料として有効に活用し、数多くいただいたご意見・ご提言を市政に反映できるよう、市民サービスのさらなる向上を目指した行政改革に取り組んでまいります。

今回の調査にあたりまして、ご協力いただきました市民の皆様にお礼申し上げますとともに、今後とも本市のまちづくりに対する積極的なご参画・ご協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

目 次

I . 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査項目	1
4. 調査方法	2
5. 調査期間	2

II . 調査結果のまとめ

1. 調査票回収率	2
2. 調査の精度	2
3. 総合評価	2
4. 回答者の属性	3
5. 散布図で見る市民意識	6
6. 調査のまとめ	11
7. 各質問の結果分析(施策 1～16、その他)	12

I. 調査の概要

1. 調査目的

平成 23 年 2 月に実施した市民満足度調査以後、市が福祉、教育、環境、産業などのさまざまな分野で進めてきた施策や事業などの取組みに対して、市民の考え(満足度と重要度)を調査し、結果をまちづくりの基礎資料として活用するとともに、事務事業・予算編成などの行財政運営の参考とする。

2. 調査対象

市内に在住する満 20 歳以上の男女 3,000 人(住民基本台帳に基づく無作為抽出)
調査対象者数については、以下のような検討を行った上で 3,000 人に決定した。

統計学上、母集団数(N)に対して必要な標本数(n)は、一般的に以下の計算式により算出される。

$$n = \frac{\lambda^2 p(1-p)}{d^2} \cdot \frac{1}{1 - \frac{1}{N} + \frac{\lambda^2 p(1-p)}{d^2} \cdot \frac{1}{N}} \quad \approx \quad \frac{\lambda^2 p(1-p)}{d^2} \quad [N \gg n \text{ の場合}]$$

λ = 信頼度 95%としたときの定数

p = 回答比率

d = 標本誤差

λ は信頼度を決めると自動的に決まる定数である。信頼度は、一般的に 95%とすることが多く、信頼度 95%ならば λ は 1.96 となる。

p はその選択肢を選んだ人の割合である。質問ごとに異なるが、 p が 50%の時に標本数が最大となることから、 $p=0.5$ として算出した。

標本誤差は、同様の調査で一般的に許容範囲とされる 3%とした。

参考：「統計実務基礎知識」平成 25 年 2 月改訂(公財)統計情報研究開発センター発行

上記により必要標本数を算出すると 1,068 件となる。回収率を 40%と想定すると、必要標本数を満たすために必要な対象者数は 2,670 件となるため、調査対象者数を 3,000 件とした。

3. 調査項目

- (1) 市が平成 23 年 4 月から平成 25 年 6 月までに実施した施策を 16 項目に分類し、それぞれ取り組んだ具体的な事業を示して、施策に対する満足度と重要度を次の 5 段階で評価いただいた。

評点	5	4	3	2	1
満足度	満足	おおむね満足	どちらでもない	やや不満	不満
重要度	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない

- (2) 施策ごとに意見・提言等の自由記述欄を設けた。

- (3) 回答者の属性による分析を行うため、性別・年齢・職業・居住年数・居住地域について選

択肢を示し、回答を求めた。

- (4) 「今後も京田辺市に住み続けたいか」、また「その理由」について選択肢を示し、回答を求めた。

4. 調査方法

調査票を郵送により配布し、同封した返信用封筒（料金受取人払）により回収した。

5. 調査期間

平成 25 年 7 月 1 日から 7 月 31 日まで

Ⅱ. 調査結果のまとめ

1. 調査票回収率

	今回調査	(参考)前回調査
送 付 数	3,000 件	5,000 件
返 送 数	19 件	14 件
実質送付数	2,981 件	4,986 件
有効回収数	1,157 件	2,136 件
回 収 率	38.81%	42.84%

2. 調査の精度

本調査の有効回収数は 1,157 件で、統計学上必要とされる標本数 1,068 件を上回っている。

また、以下の計算式から算出した全体の標本誤差（d）は 2.85%であり、同様の社会調査で許容範囲とされる 3%を下回っている。

$$d = \lambda \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$$\left(\begin{array}{l} \lambda = \text{信頼度 95\%としたときの定数 (=1.96)} \\ N = \text{母集団数 (=51,395 人。平成 25 年 6 月 1 日現在、満 20 歳以上の人口)} \\ n = \text{標本数 (=1,157 件)} \\ p = \text{回答比率 (=0.5)} \end{array} \right)$$

以上のことから、本調査の総合結果は、京田辺市全体としての意見を推定するのに必要な精度を満たしていると考えられる。

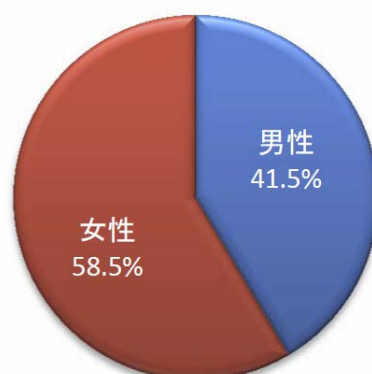
3. 総合評価(5 段階の指数評価)

評価： 4 「おおむね満足」

4. 回答者の属性

(1) 性別 (n=1,133)

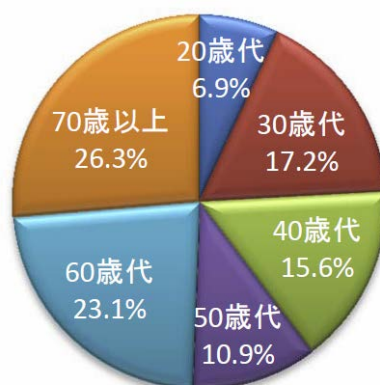
対象者抽出時点の男女別人口構成比と比較すると、女性の回答率が高い。



対象者抽出時における 男女別人口構成比	
男性	48.0%
女性	52.0%

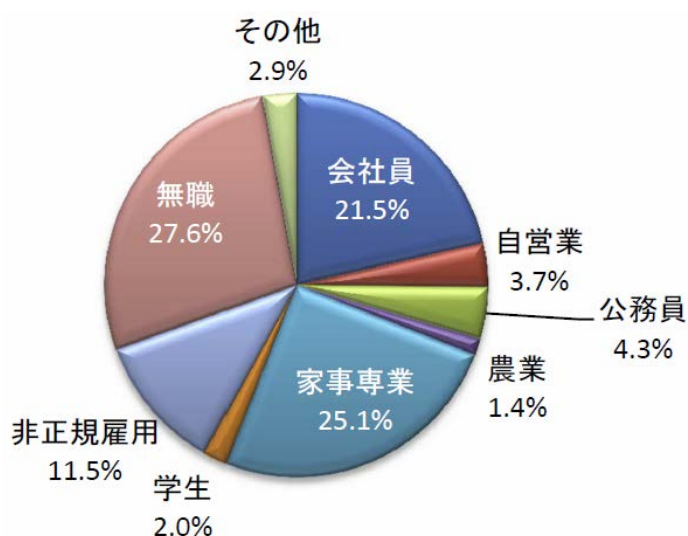
(2) 年齢階層 (n=1,061)

対象者抽出時点の年齢別人口構成比と比較すると、60歳以上の回答率が高く、20歳代・40歳代の回答率が低い。

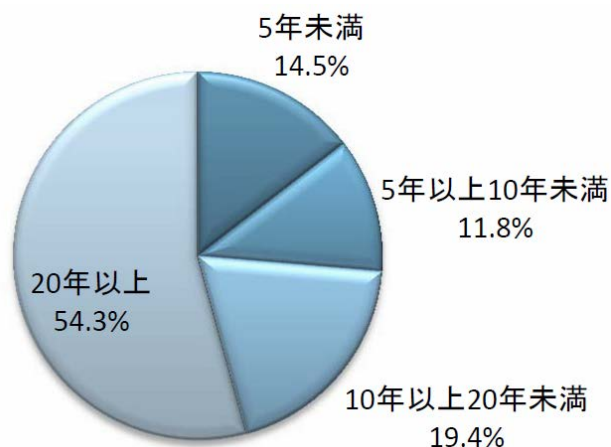


対象者抽出時における 年齢別人口構成比	
20歳代	12.6%
30歳代	18.2%
40歳代	19.0%
50歳代	12.9%
60歳代	18.6%
70歳以上	18.7%

(3) 職業区分 (n=1,132)

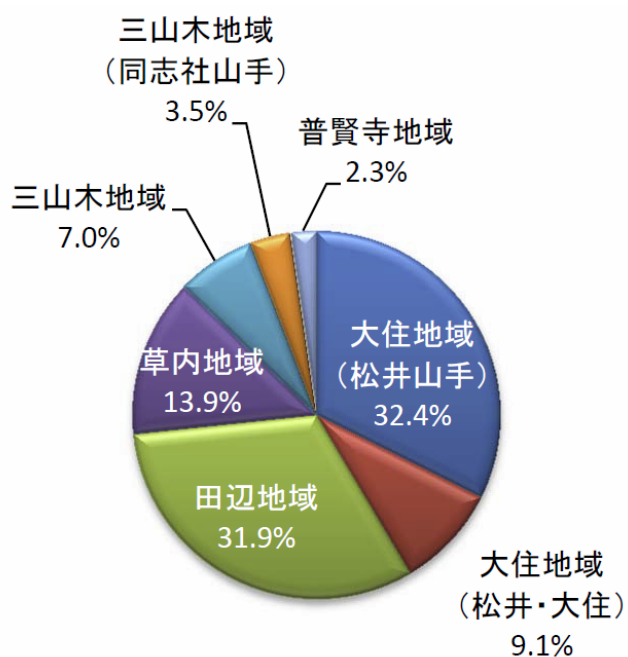


(4) 居住期間 (n=1,135)



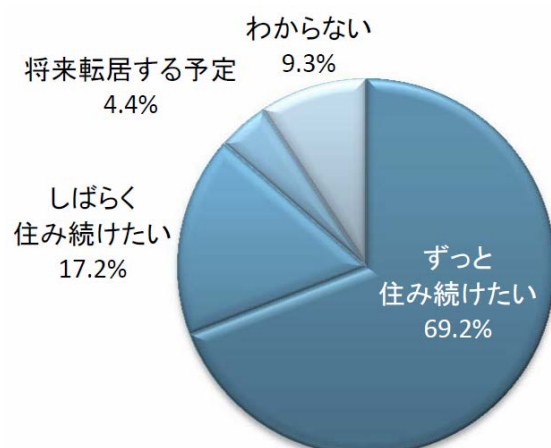
(5) 居住地域 (n=1,136)

対象者抽出時点の居住地域別人口構成比と比較すると、松井山手・松井・大住・同志社山手地域の回答率が高く、草内・三山木地域の回答率が低い。

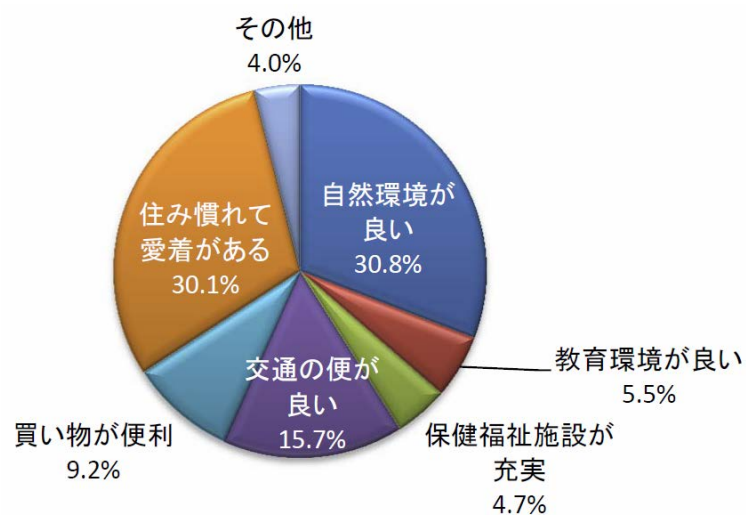


対象者抽出時における 居住地域別人口構成比	
大住地域 (松井山手)	31.9%
大住地域 (松井・大住)	5.4%
田辺地域	32.1%
草内地域	15.9%
三山木地域	9.4%
三山木地域 (同志社山手)	2.4%
普賢寺地域	2.5%

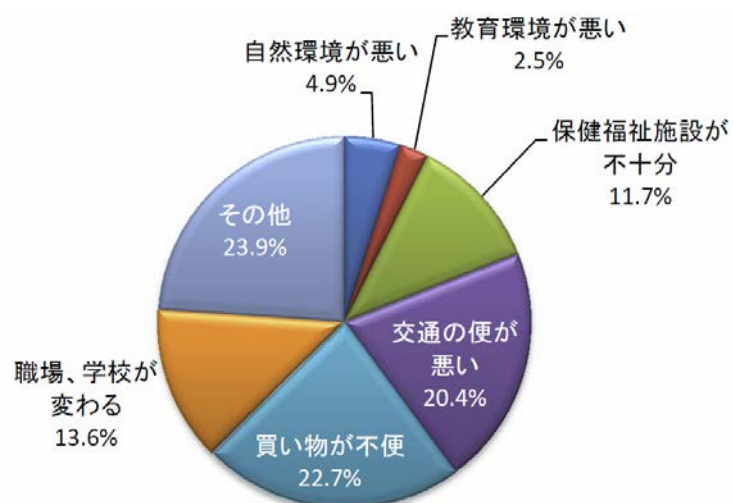
(6) 定住意向 (n=1,123)



(7) 住みたい理由 (n=1,611) ※複数回答

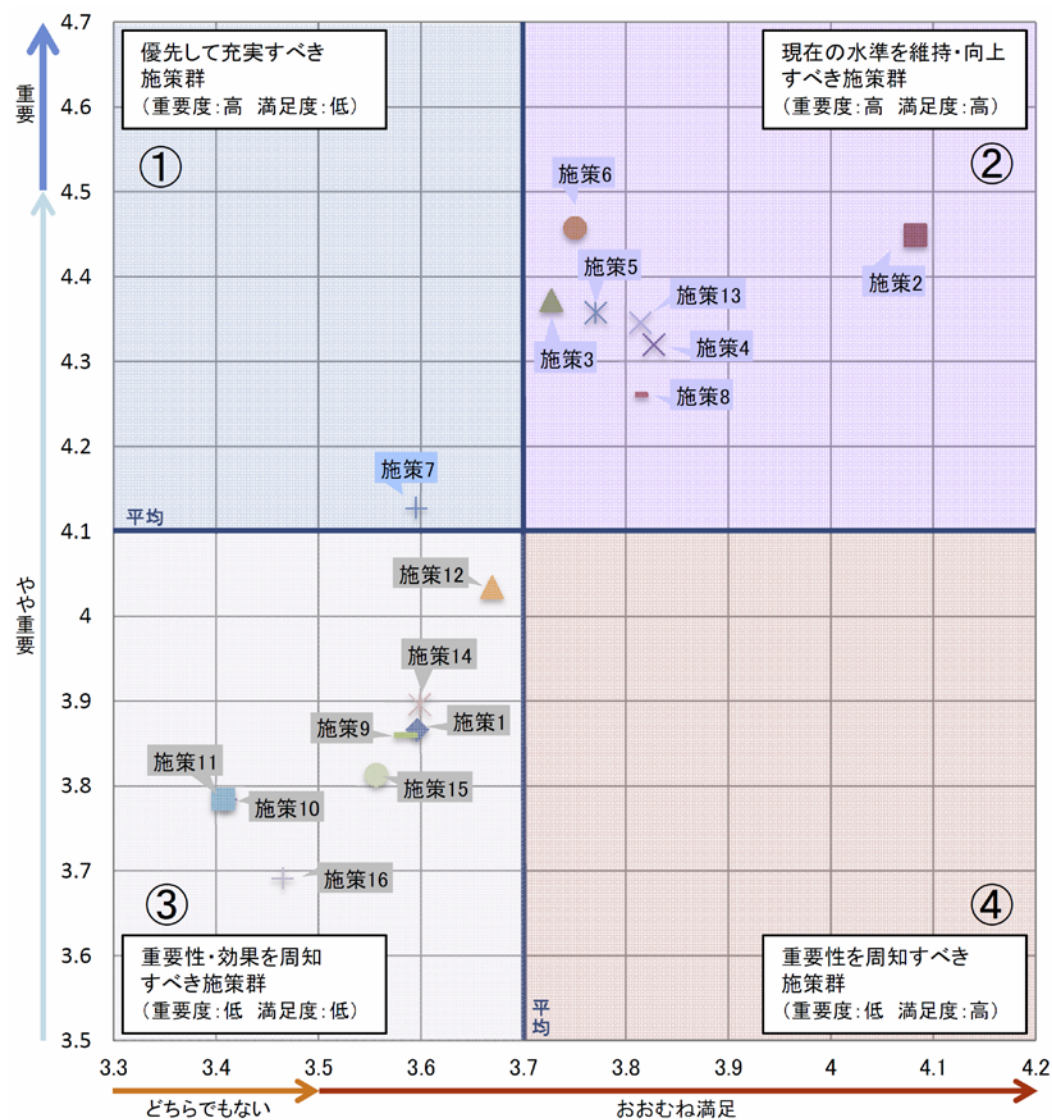


(8) 住みたくなかない理由 (n=162) ※複数回答



5. 散布図で見る市民意識

(1) 施策に対する市民の満足度・重要度（平均点を基準とした散布度合い）



① 優先して充実すべき施策群

施策7. 誰もが安全安心に移動できるまちづくり

② 現在の水準を維持・向上すべき施策群

施策2. 健康で安心して暮らせるまちづくり
 施策3. 高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり
 施策4. 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
 施策5. 災害に強いまちづくり
 施策6. 事故や犯罪を未然に防ぎ、安全に暮らせる環境整備
 施策8. 環境に配慮したまちづくり
 施策13. 心豊かな子どもを育てる教育の推進

③ 重要性・効果を周知すべき施策群

施策1. 人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築
 施策9. 地域農業の振興
 施策10. 商工業の振興によるにぎわいと活力の創出
 施策11. 地域経済の活性化に向けた新産業の創出と雇用機会の拡大
 施策12. 豊かな自然の保全と緑の再生
 施策14. 誰でも自由に学べるまちづくり
 施策15. 生涯を通じて文化・スポーツに親しめるまちづくり
 施策16. つながりによる地域力の創造

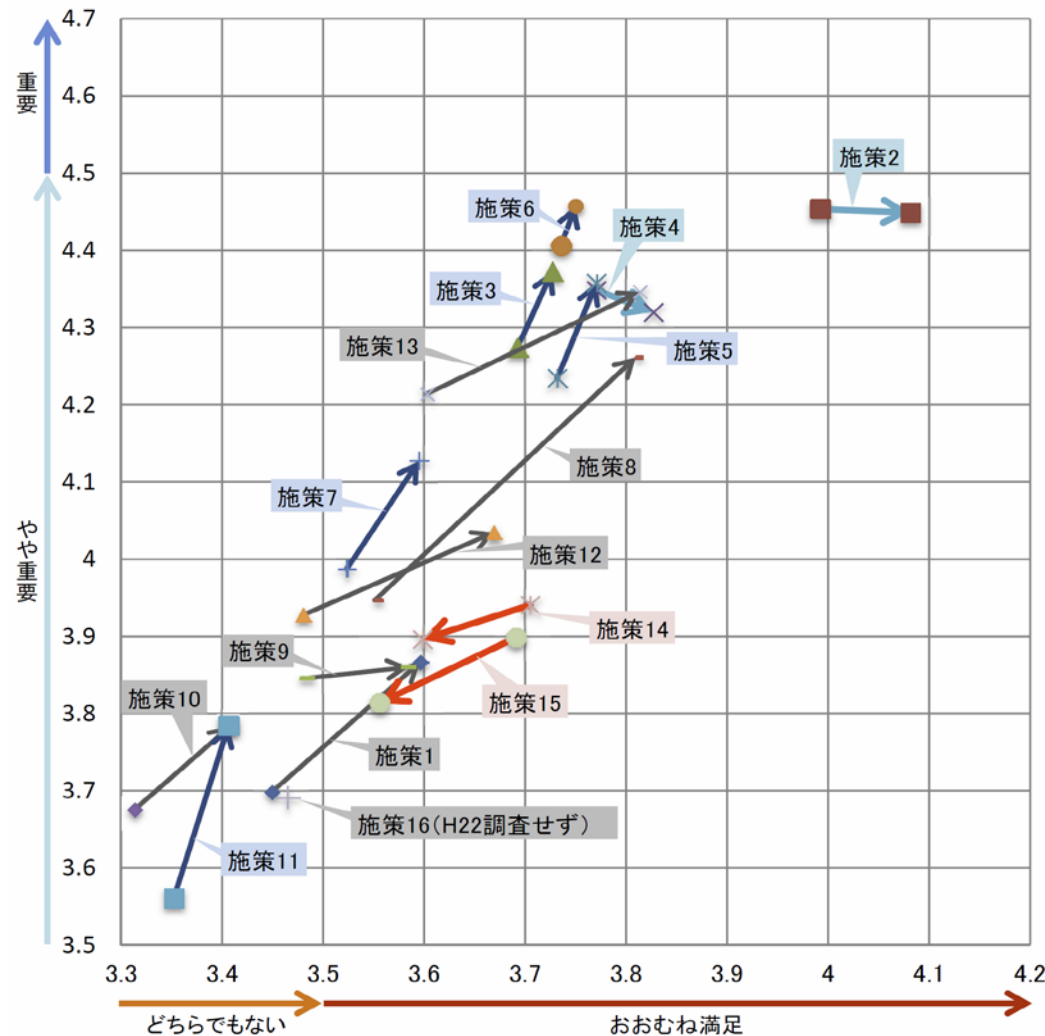
④ 重要性を周知すべき施策群

(2) 満足度・重要度の変化（平成 23 年 2 月→平成 25 年 6 月）

施策 14・15 は満足度・重要度ともに低下し、重要度に対し満足度の低下の幅が大きくなっている。

施策 3・5・6・7・11 は満足度・重要度ともに向上したが、重要度の上昇に満足度の向上度合いが追いついていない。

施策 2・4 は重要度がやや低下したが、満足度は向上している。重要度が上昇または変わらないにもかかわらず、満足度が低下した施策項目はなかった。

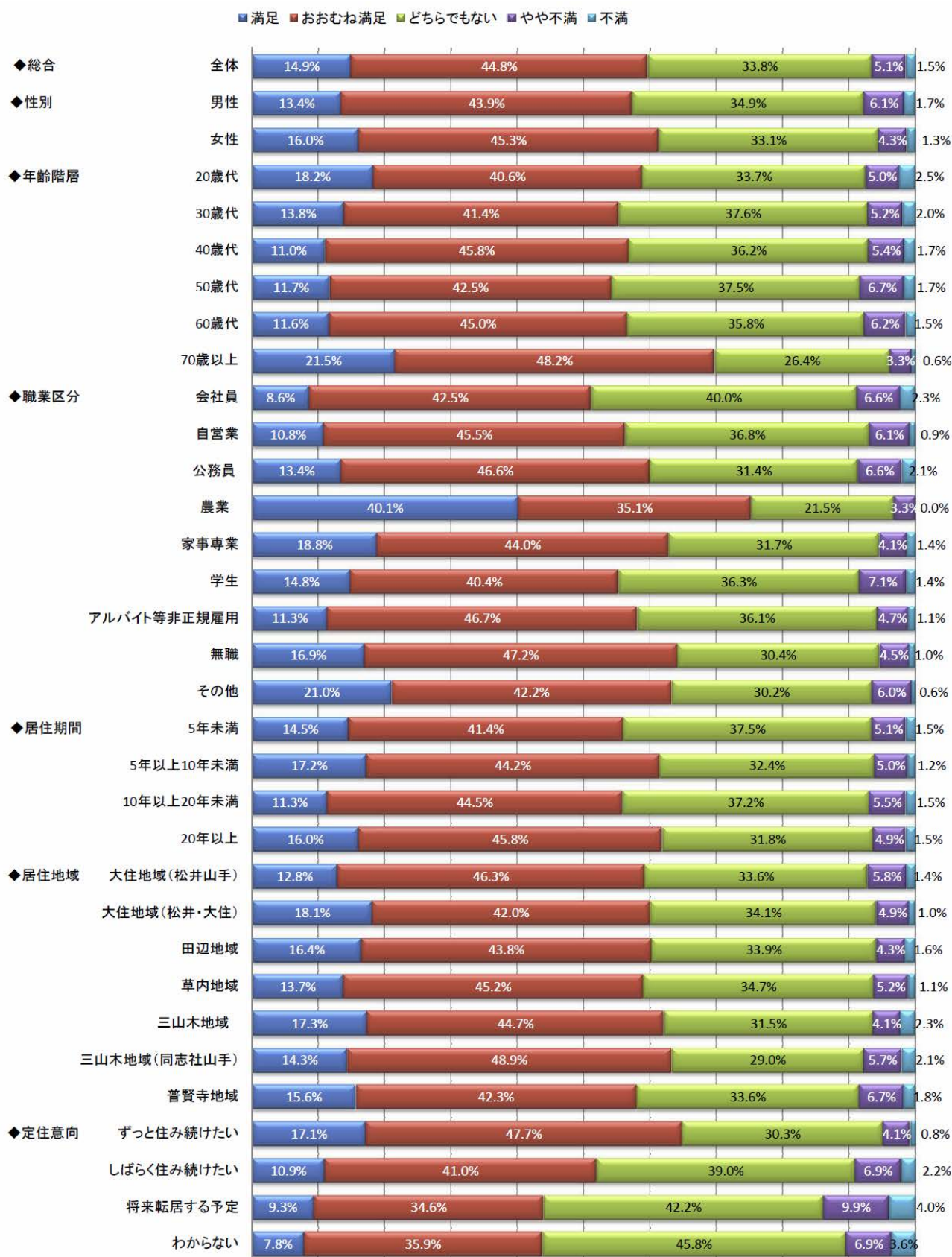


- ◀ 施策1. 人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築
- ◀ 施策2. 健康で安心して暮らせるまちづくり
- ◀ 施策3. 高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり
- ◀ 施策4. 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
- ◀ 施策5. 災害に強いまちづくり
- ◀ 施策6. 事故や犯罪を未然に防ぎ、安全に暮らせる環境の整備
- ◀ 施策7. 誰もが安全安心に移動できるまちづくり
- ◀ 施策8. 環境に配慮したまちづくり
- ◀ 施策9. 地域農業の振興
- ◀ 施策10. 商工業の振興によるにぎわいと活力の創出
- ◀ 施策11. 地域経済の活性化に向けた新産業の創出と雇用機会の拡大
- ◀ 施策12. 豊かな自然の保全と緑の再生
- ◀ 施策13. 心豊かな子どもを育てる教育の推進
- ◀ 施策14. 誰でも自由に学べるまちづくり
- ◀ 施策15. 生涯を通じて文化・スポーツに親しめるまちづくり
- + 施策16. つながりによる地域力の創造

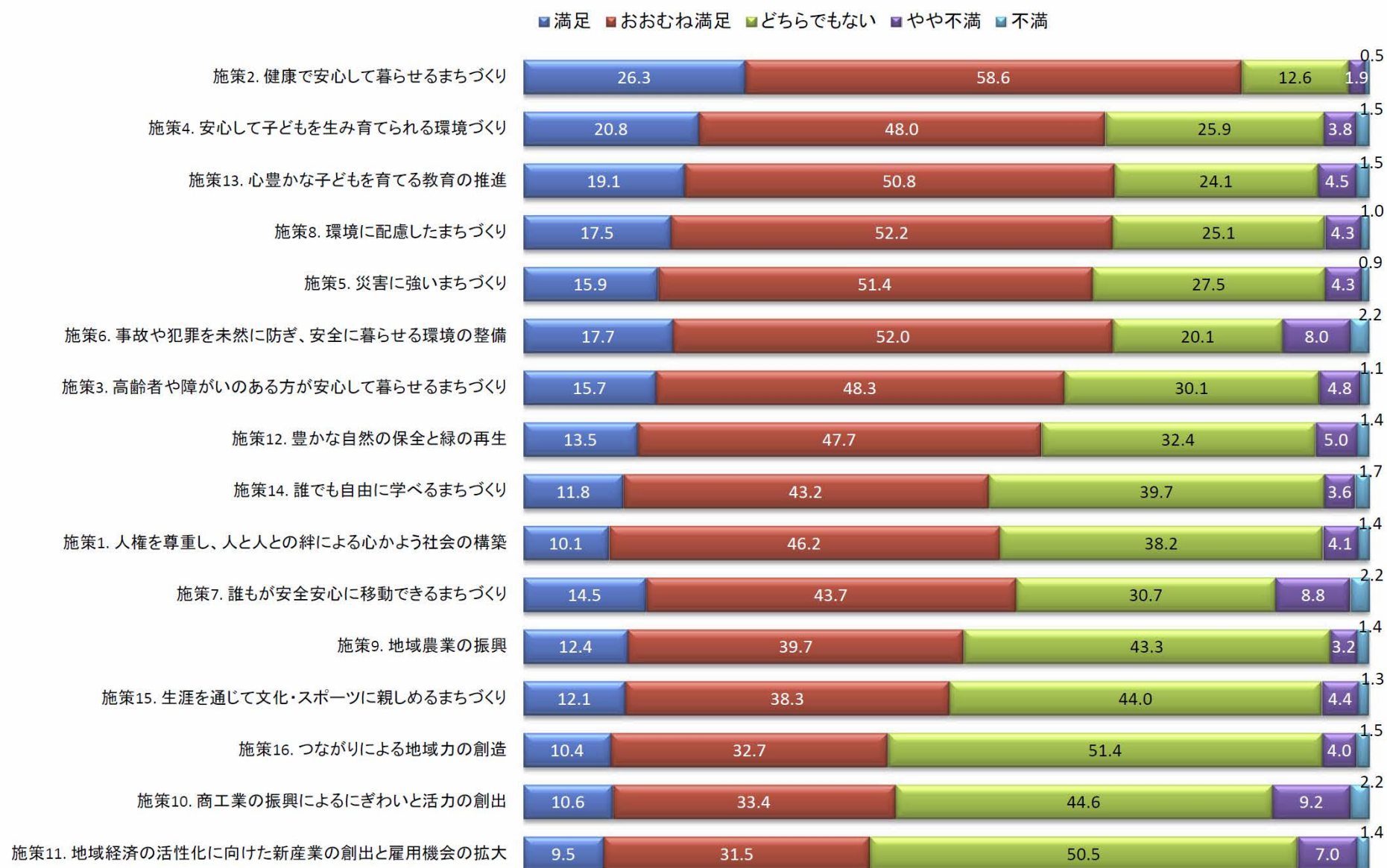
◀は満足度・重要度ともに下がった項目、◀は重要度が下がった項目

(3) 回答者属性別の総合満足度

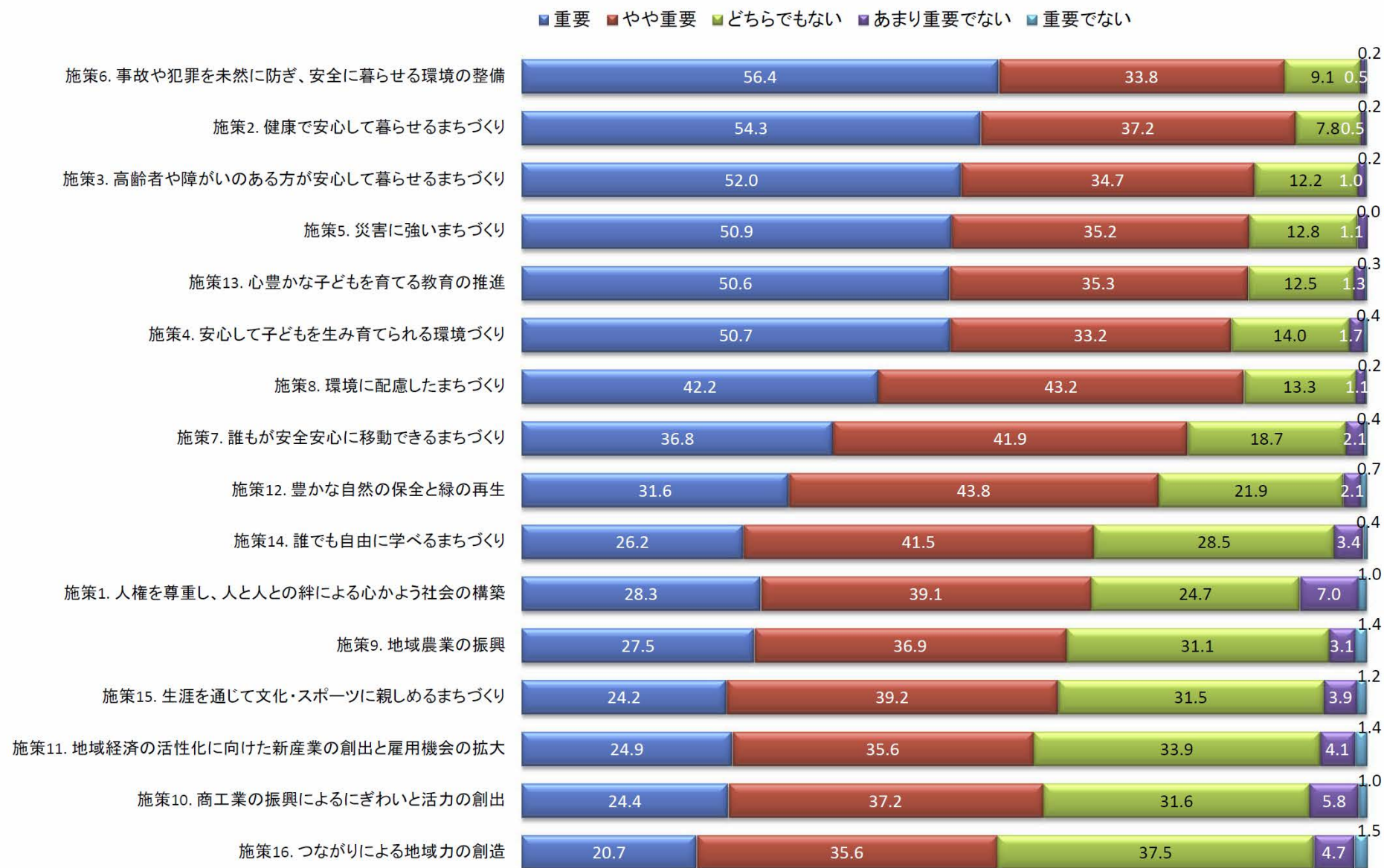
すべての施策項目での評価を総合すると、年齢階層「70歳以上」、職業区分「農業」で、「満足」「やや満足」と回答した割合が高く、「会社員」の満足度が相対的に低かった。また、定住意向を尋ねたところ「将来転居する」「わからない」と回答した人の満足度は50%を割り込んだ。



(4) 市民満足度の高い施策の順位



(5) 市民が重要と考える施策の順位



6. 調査のまとめ

市政に対する市民の意識調査としては、平成23年2月に市民5,000人を対象に実施した「市民満足度調査」以来、今回が2回目となる。今回は、市内在住の満20歳以上の男女から無作為に抽出した3,000人を対象に調査を行った。市の施策を16項目に分類し、項目ごとに取り組んだ事業を提示し、それぞれの施策や事業に対する満足度・重要度について市民の意識を調査した。回答者数は1,157人、回収率38.81%であり、前回調査(回収率42.84%)をわずかに下回る結果となった。

回答を集計した結果、市政に対する市民の総合的な満足度は、定量的な5段階の指数評価で「4(おおむね満足)」となった。

各施策に対する個別評価をみると、施策2の「健康で安心して暮らせるまちづくり」が、満足度において最も高い評価となり、5段階の指数評価で「4.1」を得た。この施策は重要度においても2番目に高い評価であったこと、前回調査時にも満足度・重要度ともに最も高かったことから、今後もサービス水準の維持・向上が必要と考えられる。一方、最も満足度が低かったのは、施策11の「地域経済の活性化に向けた新産業の創出と雇用機会の拡大」で、5段階の指数評価は「3.4」であった。

重要度では、施策6の「事故や犯罪を未然に防ぎ、安全に暮らせる環境の整備」が最も重要度の高い施策と評価され、交通安全・防犯に対する市民ニーズの高さがうかがえる結果となった。一方、施策16の「つながりによる地域力の創造」が相対的に最も重要度の低い施策と評価されたものの、5段階の指数評価は「3.7」と、絶対的なニーズは低くないと考えられる。

施策ごとの評価を回答者の属性別にみると、施策6の「事故や犯罪を未然に防ぎ、安全に暮らせる環境の整備」は「学生」の満足度が低く、施策7の「誰もが安全・安心に移動できるまちづくり」は、「会社員」「普賢寺地域」の満足度が低かった。また、施策10の「商工業の振興によるにぎわいと活力の創出」と、施策11の「地域経済の活性化に向けた新産業の創出の雇用機会の拡大」については、すべての属性区分で「どちらでもない」や「やや不満」を選択した人が多かった。施策16の「つながりによる地域力の創造」は、「会社員」の満足度が低く、「農業」の満足度が高かった。

回答の中には、「今回のアンケートは行政情報を知る上で役立った」「今後は広報紙などにもっと目を通すようにしたい」という声も多く、行政と市民が双方向で情報をやりとりできたという意味から、有効な調査であったと判断できる。しかしながら、「事業を知らなかった」「広報が不十分」などという声も多く寄せられていることから、施策の周知不足による市民の認知度の低さも読み取れる。ホームページなど電子媒体の取り扱いに不慣れな市民も存在する中、今後いかに効果的に行政情報を発信するか、伝達手法を含めた有効な広報広聴システムの確立が課題と考える。

調査は、今後も定期的実施する必要があると考えるが、調査票の様式・質問内容・記入方法等については、「内容が難しい」「取り組んだ内容だけでなく、結果どうだったのかを示してほしい」など、調査で寄せられた市民の声を反映し、より市民が理解しやすく答えやすい内容となるよう、改善を検討しなければならない。

今後、市民から寄せられた数々の意見・提言を分析し、重要度に比べて満足度が低かった施策を重点的に見直し充実を図るほか、新規事業を企画することで、より市民に満足いただける市政を推進する必要がある。

7. 各質問の結果分析(次ページ以降に記載)

施策1:人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築

- 非核平和都市宣言を行い平和市長会議に加盟したほか、小・中学生を広島へ派遣するなど、平和事業を推進しました
- 相談窓口・専用電話で悩み事や法律に関する相談に応じるなど、人権の擁護に取り組みました
- 男女ともに活躍する職場の実現へ向け、市内事業所で男女共同参画推進員の設置を進めました
- 男女が支え合う地域社会づくりのため、区・自治会を対象に「男女共同参画チャレンジセミナー」を開催し、各地区が希望するテーマに沿った講師を派遣しました
- 区・自治会における地域コミュニティ活動を支援するため、助成金の交付などを行いました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	3	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	3	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

人権を尊重し、人と人との絆による心かよう社会の構築
結果報告で取り組みをもっとみんなに報告するべきだと思う。
これらの施策をしてくれているということ自体知らなかった。効果を身近に感じとれていない。この事業にとりくんだ結果どうなったのかわからない、(何が変わったのか?)
抽象的で具体性が欠ける。アクションプランが見えにくい。
本当に困っている人の為の相談窓口は必要だと思う。問題解決の糸口として。
自治会等に支援を行っても、住民に反映されていない。一部の役員だけで終わっている。経費の無駄と考える。
取り組んで下さっている内容は、いいことだと思いますが、一般市民に直接反映されるものを。
施策と事業があまり浸透していないように思う。
小・中学生を広島に派遣するなら、修学旅行で行けばよいと思う。
結果が書かれていないので判断のしようがない。参加人数、開催回数、助成金の規模等。
実施していることが形だけのものになっていないかどうかが問題。(非核宣言など、京田辺で直接取り組むことに疑問も)
区・自治会の助成金はいいことかとは思いますが、その活動に参加しない人もたくさんいる。適正な額かどうか…。
男女参画に関する取り組みについては、身近で感じられない。非核平和都市宣言をしている市に住んでいることを誇りに思う。
中学生の修学旅行で広島に行かせて欲しい。
区、自治会の活動を市が支援する事は大変良いと考えます。今後も拡充お願いします。
子育て支援のための、働く女性のための具体的で、かつ今すぐ必要であることを行ってほしい。シルバー人材センターでは子供の送迎は車でダメとか、利用しにくい決まりがあって非常に困っています。市役所の取り組みでのセミナーなどもスタッフが多くお金の無駄使いで参加しても腹が立ちます。
助成金の交付後の結果はどうですか？交付金を渡した後は知らないでは駄目ですよ。
「男女共同参画チャレンジセミナー」の名称は何のことかわかりづらい。
自治会は昔からの住人が中心で入りにくい。日本国憲法で充分人権は守られているので強化の必要はない。
それぞれの課が独自に補助金を取り決めており、ホームページなどで存在が分かりにくい(別のページでした)。一元化してほしい。
小中学生を広島に派遣する。事業は大変良い。又平和市長会議に加盟したのは良い、活発に活動してほしい。
セミナー等は、ある程度決まった方が参加するぐらいだと思う。学校でも子供たちが直接参加できるものも企画すれば…(例:落語や劇から学ぶ等)
区、自治会に対する助成にかたよりが有るのでは？制度の見直しを行ってほしい。旧村等人口の少ない所への助成が手厚すぎるかと思います。市の人口は北部が多いわりに、あまり市の施設がなく、不便です。また、議員が少ないからか、住民の声も届いていないと思われます。市民意識も厚いので、市政に関心がもてるような施策を考えてほしい。
学んだり、参加したりできる機会を更に増やしてほしい。
市外に勤務する人も多いと思いますが、そういった人も地域のコミュニティ活動に参加できる環境があればいいと思います。
助成金の交付はうれしいですがきっちりいかされたでしょうか、広報に目を通してなかったら、皆さん知らないままだと思います。
幅広い施策は重要だとは思いますが市としての特色に欠けると思います。
男女参画については、それぞれの短所が補えるような具体的で違う角度からの取り組み、講習会の充実等があれば、より良いと思います。
子を持つ母親が、復職しやすい環境作りに、もっと力を入れて欲しい。

施策2:健康で安心して暮らせるまちづくり

- 病気の早期発見・治療のため、各種がん検診を行うとともに、一部の検診では集団検診に加えて個別での受診も可能にし、検診の機会を拡大しました
- 風疹や肺炎球菌など、各種ワクチンの接種費用に助成を行いました
- 全国的に児童虐待に関する相談件数が増えていることから、「京田辺市児童虐待対応マニュアル」を活用し、市民への啓発活動や研修会を実施しました
- ボランティアやNPOなどの活動拠点の充実を図るため、社会福祉センターの改修に着手しました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	5
30 歳代	4	5
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	5	5
家事専業	4	5
学生	4	4
非正規雇用	4	5
無職	4	4
その他	4	5

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	5
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	5
三山木地域	4	5
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

健康で安心して暮らせるまちづくり
高齢者が病院へ行く事が減る、また、薬に頼らなくても良いような健康な体づくりを目的としたセミナー等を開催し啓発していく事を希望します(料理教室、運動等をセットで行う)。
肺がん検診や乳がん検診など一日に1つずつという形で検診が行われているので何度も足を運ばなければならない、一日で全部の検診ができる様望む。
ワクチン接種費用助成を行なうのであれば、ワクチンの数を早急に確保して欲しい。
子宮ガン検診と乳ガン検診を毎年行って欲しい。
特定健診(無料)や風疹ワクチン接種費用の助成など極めて適切であると思う。総合病院等の設置、誘致による医療機関の整備・充実が望まれる。
各種集団検診等の案内をいただいているが実際受診したことがありません。市内の受診率はどのくらいなのですか?もっと強制的にするべき。
【「京田辺市児童虐待対応マニュアル」を活用した啓発活動や研修会の実施】については広報不足 【ボランティアやNPOなどの活動拠点の充実を図るため、社会福祉センターの改修】一部の市民の利用のみ?私たちは行ったこともない。
検診についてですが、選べる病院(医院)が少ない、(不満足)市外も可にして下さい。
風疹や肺炎球菌、子宮頸がん、ワクチン、助成の年齢層を広げるべきだと思う。
今後とも推進願います。ただしマッサージの助成は片寄った施策と考えられ全体に効率的な施策に経費を使うべきではないか!
子宮がん検診が1年おきになったので毎年やるものではないでしょうか?忘れがちになるので…
高齢者向けの脳ドッグ廃止や、子宮がん検診も2年に1回と検診の機会が以前より低下減少しているのはニーズに逆行している。
がん検診の他に骨そしょう症の検査や講座などもあり、体育館内のジムも低料金で、ワクチンも早めの公費助成など大きな市(京都市)より充実し、市民に取り組みが周知され、ていねいでゆきとどいている実感がある。
市独自に小学生等の医療補助を行っている事は、子育て家族の支援となり若い世帯の増加、市の活性化につながると考えます。
重要であるが、全市民が利用しやすいようでなければ意味がない。
がん検診はもっと個別検診化をすすめてほしい。(集団検診は日時の都合がつかないと、受けられない。)
これらの取り組みがされていることは、重要だとは思いますが、どれだけの市民がこの取り組みを知り、興味をもっているのか?広報活動が足りないと思う。
赤ちゃんが接種したほうが良いといわれているワクチンについて全て助成があると助かります。ロタウイルスなど自費だととても高いので。
ワクチン接種費用補助、子供への助成をもっと拡大して下さい。個別受診については、市外の医療機関でも認めて下さい。
国保の人間ドッグ受診病院が少ないのもっと多くの病院の中から選べるようにしてほしい。
土日祝も検診できるようになれば、なお良いと思う。
医療費の推移等(特に一人当たりレベル)公表し減少しているか、検討すべし。
児童虐待の件、数値的な変化は出ているのかが重要と考えます。
検診やワクチン接種など病気の予防や早期発見、治療が大切だと思いますので、それらの費用負担が軽減される取り組みは、ありがたいです。
児童虐待と思われるケースが、近所でありましたが、マニュアルの存在を知りませんでした。啓発活動がもっと必要だと感じます。

施策3:高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり

- 地域密着型サービス事業所を新設し、高齢者や家族が、要介護・要支援状態になっても住み慣れたまちで安心して暮らせる環境を整備しました
- 障がい者の社会参加の促進と、障がいに関する相談・支援体制の充実のため、知的障がいがある人の家族や身体障がいのある人を相談員として、相談会を実施しました
- 地域包括支援センターを増設し、高齢者の介護・福祉の連携拠点として相談支援を充実しました
- 市民・学生・職員などを対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する人材の育成に取り組みしました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	5
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	5

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

(施策3:高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり)

高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり
まだまだ相談するまで勇気を持ってない人々が多くなります。その方々に対してのサービスの方法を考えて下さい。
宝生苑のお風呂を有料化して下さい。
必要な事ですが、知る機会がありません。広報も細かな所まで読めていないので、目を通すようにします。
施設に障害者用トイレが無い。設置すべき。
市内に介護事業所をつくる方がよい。
高齢者の介護・福祉の連携拠点としての相談支援はどこへ行けば、受け付けてもらえるのか？
おむつの助成や住宅改修と手厚すぎる。他の市町村では聞かない助成がある。高齢者が増える中、支出が大きくなってくのではないか。
後期高齢者です。調査票を拝見しておりますと、安心して暮らせる様子ですが、現実老いている人には日々がとても不安です。老人ホームも長い間順番待ちしなくても入所できる様にしてください。
時には高齢者の家庭を訪問する事、年2〜3回必要。
車椅子の方が通行しやすい道を見直してほしいです。公共施設はほぼバリアフリーです(中央公民館はエレベーターがなく不便です)が道はまだ危ないと思います。
家庭で介護できなくなった時とか金銭的に施設に入れない時などの具体的な支援など知りたい。
認知症を受け入れる施設、ケアハウスが少なく又高額で入れない。(認知症をかかえていては仕事もできない)
(1)要介護、要支援を受ける時、医師の診断書を参考に迅速にしていきたい。 (2)敬老行事で、該当者に菓子箱を配っていただいてますが、それよりタクシーの乗車割引券を考えていただきたいです。
ひとり暮らしの老人(特に男性)は積極的に市のサービスを受けていない人が多いと思う。人の世話になるのは恥ずかしいとかプライドでなかなか行動に移せない。このあたりの改善を願います。
相談の窓口がわかりにくい。
要介護にならない様に予防セミナー等をして欲しい、区域ごとにあまり遠くない所で。
年金で入所できる老人ホームをつくって欲しい。(例えば、府営団地を徐々に老人ホームの形にかえていくとか)
自分が将来どのように老後を過ごすのかというようなことをシミュレーションできる講座などあれば参加したいです。
高齢化社会になって来ています。高齢で2人暮らしの方や独居の方もおられると思います。何かあった場合の自治会内の通報のやり方等、市の取組がもっと重要かと思われます。
相談だけで介護予防への具体的施策が少ない。地域包括支援センターが北部に無いのが不満。
もっと貧しい層、底辺層を支える活動をお願いします。
家の中にいるだけでは、だめなので表に出る機会をつくってもらえると良いと思います。
高齢者自身のみでなく家族を支援する制度の充実が重要と思います。
高齢者の生きがいづくりに対する施策が不十分。
敬老の日の行事として、各戸にお菓子を配られますが不要です。むしろ今後増える一方の高齢者の医療費、あるいは介護の補助業の足しにするとか僅かでも必要とするところに使われたら如何でしょうか。
認知症サポーターの手助けを受けるには、どこに行けばよいのか、又初期段階で、回復や維持を目指す取り組みがあれば、その周知をしてほしい。
どこに、そのような施設があるかわからない。

施策4:安心して子どもを生み育てられる環境づくり

- 子育て支援医療費の入院外の助成対象年齢を、小学校6年生まで拡大しました
- 市南部における保育需要の高まりに対応するため、三山木保育所の新築移転に着手しました
- 保育定員の増加と良好な保育環境の実現を目視し、私立みみづく保育園の市営住宅跡地への移転を支援しました
- 夏休み期間中の留守家庭児童会の受け入れ対象を、一部の小学校で6年生まで拡大しました
- 同志社大・同志社女子大学生と協働し、「子どもの遊び場マップ」作りを進めました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	5
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	5
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	5
5年以上10年未満	4	5
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	5
普賢寺地域	4	4

安心して子どもを生み育てられる環境づくり
夏休み中の留守家庭児童会の受け入れが、6年生まで拡大されるとありがたいです。全小学校で受け入れしていただけると嬉しいです。
幼児教育料の公費負担助成制度では、どれも所得制限の条件が満たされず多額の税金を払っているのに恩恵が受けられない不満がつのっています。
子育て支援医療費の入院外の助成対象年齢を、中学卒業までに拡大して欲しい。
障がい児童に対する、教育に不十分さを感じる。特に教育委員会、学校現場でのケース会議や保護者、本人の希望要望に対する支援が不十分である。
市立幼稚園の保育時間(特に年少)が短く、保護者参加行事も多くてとても負担が大きく苦痛でした。
子育て支援といえはいつも小学生ぐらいまでが手厚いですが、お金が一番かかるのは高校～大学です。医療費等での助成等出来ないものか。いくら幼・小と少子化の為にしても高校以上にお金がかかる事を考えて産むのをやめる人が多いと思います。
待機児童の数を広報にのせるべきです。
児童福祉に関しては近隣市町村に比べ充実しており満足していますが、一人親家庭への支援(交流場・情報 etc)があると尚良いなと思います。
夏休み期間中の留守家庭児童会の受け入れ対象を、一部の小学校で6年生まで拡大しましたとあるが、子供が自分で通えるところでないで困る。速すぎて実現的でない。
留守家庭を19:00迄にして頂き、夕方から5時～7時迄宿題等の勉強時間として、教員を目指す学生を実習扱いで研修にて利用されてはどうでしょうか？
マップ作りは必要ないと思います。今はインターネットで何でも調べられるので。
働く母親にとって6年までの留守家庭児童会は安心してきていいと思います。【子育て支援医療費の助成対象年齢を、小学校6年生まで拡大】は、たいしたことなくてもすぐに連れてつたりする。(タダだからという思いで)高学年になれば病気も少なくなるので、6年まで拡大はしなくていいと思いました。せめて低学年生で十分だと思います。
夏休み期間中の「留守家庭」の条件が厳しすぎる。週1日のパートからでも利用できるようにしてほしい。
みみづく保育園の新園舎の近くの歩道も整備してほしい。年度途中での保育所入所も可能になるとよいと思う。
学童の定員を早急に増やすべきだと思います。働きたいと思っても途中から学童に入れないので働けない。又上の子が幼稚園に通っていると下の子は保育所に入れないというもおかしい。これから働きたいと思っても預け先がまず確保されないと働くことができない。
高学年の力をもっと利用すべし。
所得制限ありで良いので、こどもの医療費助成を義務教育(中3まで)終了までにしてもらいたい。
行政が直接施設整備等をするよりも、地域で子供を育むような取組を支援する or 創設するようなことやってはどうか。
保育所、保育園での土曜日の保育が16時までで、土曜も働く身にとっては、とてもお迎えに間に合いません。土曜も平日と同じ時間で保育してほしい。
普賢寺小学校は留守家庭児童会が必要ないと言われていると聞きました。必要としている人達の事も考えて頂きたい。
保育所申込書類について、入園前と入園後、市あて保育所あてと何通も似た書類作成となっており、また様式内には30年程導入されていない予防注射(種痘)の項目があり、その書類の必要性に疑問を感じました。効率的な書類への見直しと改善をお考えいただきたいと思います。

施策5:災害に強いまちづくり

- 耐震診断士の派遣と耐震改修工事費の助成を行うことで、市内建築物の耐震化を進めました
- 事業所と支援物資供給に関する協定を締結するとともに、災害備蓄品の充実を図りました
- 災害時に物資や宿泊所などを提供していただける市内事業所の登録を進めました
- 鹿児島県霧島市・千葉県習志野市と災害時相互応援協定を締結し、大規模災害時の支援を確保しました
- 自主防災組織の立ち上げを支援し、地域住民による避難誘導など実践的な訓練を行いました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	5
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	5

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

災害に強いまちづくり
高齢者・要介護者等の避難誘導や地域の人達の連携への取り組みも強化が必要では！
市として、市民が避難できる施設を建設してほしい(市民会館など)
各家族への災害グッズや非常食の配布。
障害者は、健常者に比べて、避難所での生活に困難です。できるだけ自宅ですごせるものなら、すごせたほうがいいので一律の対応はしないほしい。
同志社大学(厚生年金跡地)宿泊施設を大災害時に受け入れてほしい。
近隣の市との相互応援の方が重要ではないか。
知らないことが多い、防災の情報入手が広報紙だけだから？
区、自治会単位で実施訓練をしてほしい。
京田辺では、津波の問題も、帰宅難民発生の問題もほぼ無い。現実的な耐震化の推進(住宅が中心)と、大都市(大阪市、京都市など)との連携関係の確立が大事ではないか。
インフラを含む整備が必要(山手幹線だけでは弱いかと)。水害の方が危険度が高いと思うのでそちらもしっかりしてほしい。
昨年、宇治市で決壊したような天井川が市内に多くあるが、その様な危険箇所は早急に排除すべきと考える。あらゆる機会を捉まえて京都府へ要請を行うべきと考える。
携帯やインターネットを使って、もっと住民に広くつたわる様にしてほしい。
各家庭の備蓄についても、自治会を通じてもっといい広報活動をして欲しいと思います。独居高齢者などへの配慮も地域まかせになっています。
どの程度耐震化を進めることができたのか、各分野において具体的に数字を示しながら施策を進めてほしいと思います。
広域避難施設、小中学校などに災害時に必要な物資、生活用品、簡易トイレなど災害時にすぐ使用できるように配置し実践的な訓練ができるようにしてほしい。地域密着型で市民に伝達してほしい。
防災に対する意識と互助の精神を高めるために避難訓練を全員参加型にする。定例的に行う等継続的に行う。
災害時相互応援協定先として霧島市、習志野市では、遠隔に過ぎると思う。時間的、人的、経済全ゆるコスト面から見てもっと有効性のある自治体と締結すべきであると思う。※両市に決めた必然性があれば広報されたい。
木津川流域の浸水対策、以前氾濫による浸水があったと聞きますが、この30年程はなく、意識が薄くなっている。ハザードマップでは対応が判りづらい。
神戸市がやはり、この分野はすすんでいるし、ハザードマップも最近のがある。災害慣れしていない京田辺市だが、神戸に学んでほしい。
災害発生時学校など避難場所指定されていますが大災害が発生し、比較的長期に宿泊可能な避難場所等、広報活動も必要ではないでしょうか。
防災等の危機管理は住民の意識が大切となる。啓蒙活動を充実させる事が必要。
すこし分からない事があり、本当にやったのかと思い改めて関心を持ちたいと思います。
とても大変な事ですが、年一度又は、2、3年に一度、市民全員が参加出来る避難訓練を、する必要があるのではと思います。毎年のようにパンフレットでいただきますが、訓練する事はとても重要だと思われます。
市民の防災意識が低い。各地区の一斉清掃日に防災避難訓練を合わせて実施したらどうか。
まち全体に聞こえるスピーカー等は有るのでしょうか？万一、避難が必要な場合等に、高齢者の誘導対策は万全でしょうか

施策6:事故や犯罪を未然に防ぎ、安全に暮らせる環境の整備

- 歩行者の安全を確保するため、JR京田辺駅南側の踏切を拡幅し、車道と歩道の分離を進めました
- 通学路のカラー舗装や自動車への注意喚起看板の設置など、通学路の安全対策を進めました
- 誰もが安全に安心して移動できる空間を整備するため、バリアフリー基本構想を策定し、市民生活に密接に関連する施設など、重点整備地区のバリアフリー化を促進しました
- 近鉄新田辺駅・JR京田辺駅周辺地区に防犯カメラを設置し、犯罪の抑止を図りました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	5

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	5

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	5
30 歳代	4	4
40 歳代	4	5
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	5
学生	3	5
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	5
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	5
三山木地域(同志社山手)	4	5
普賢寺地域	4	4

(施策6:事故や犯罪を未然に防ぎ、安全に暮らせる環境の整備)

事故や犯罪を未然に防ぎ、安全に暮らせる環境の整備
近年自転車の無謀運転が増えています。特に高齢者、若者、自転車の正しい乗り方の講習会をこまめに行って、出来れば市独自の卒業証書、免許証の様なものを交付するとか、もう少し正しく皆が乗る工夫をおねがいしたいです。
松井山手地区の商店の増加に伴う、交通渋滞が原因となり、住宅地の道路をまわり道に使用する車が増え、子供が居るので安心できない。事故が起きてからの対策では遅い。
自転車と歩道の分離も進めて下さい。歩道通行可の歩道に一応自転車用のラインらしきものがあるが、街路樹や車止めのポールなどでまっすぐ走れない所も多い。
老人が散歩しやすいように歩道の整備をしてほしい
京田辺市が交通安全の為に急務としてすべきことは、22号線沿いの歩行者と自転車通学の人の安全を確保することです。亀岡市のような事故がここでも発生すると思います。
街灯はもっと充実させて欲しい。
防犯カメラの設置は特定地区に限定せず市内各所、要注意個所に設置を進めるべきと考えます。
カラー舗装が何なのかわかりづらい(友人は通学路とわかりませんでした)通学路とわかるようもっと工夫が必要だと思います。
人通りの多い所自転車と歩道の分離をしてほしい
通学路にガードレールを設置して欲しい。
通学路全てにカラー舗装して欲しい。国道307を渡る通学路は危険です。校区の見直しをして欲しい。
近鉄「新田辺駅」東側の整備推進が必要。又近鉄踏切の立体化による旧307号線の渋滞対策が急務である。
自転車道の整備が一部進められているが、段差の解消や、バス停との交差するところで、歩道との境が解りにくい。誰でもが識別できる工夫が必要である。
常識化した施策を予算に応じて実施するだけでなく、高齢者や障害者が本当に支障なく動けるバリアフリー化を特定の駅で求めているかどうか。市内の駅でどこが本当にバリアフリーなのかわからない。
駅前ばかりキレイにしても意味はない。駅から少しはなれると街灯もまばら。
駅のエレベーター設置で車椅子でも容易に移動出来るようになったが、まだまだ狭い、凹凸の道路(歩道)が目立ちます。
道幅が狭いののに側溝になぜ蓋をしないのか、せめて歩行者の安全を考えて蓋をして通行出来るようにして下さい。費用はあまりかからないと思います。
旧府道22号の電柱埋設等を検討願いたい。
先日JR京田辺の踏切近くの押しボタン付き信号で通学中の小学生が渡ろうとした時に信号無視をして走る車がありました。たぶん「赤」に気付いてなかったと思います。目で見ると体感する方が、イヤでも気付き、止まると思いますので子供が通る道近くにはドイツのように道に「凹み」くぼみなどスピードを落とす目印を造ってほしいです。
道路の白線が消えかけている場所に白線を引いて下さい。
防賀川沿いの道へのバイク、自転車等の乗り入れ禁止の徹底。
通学路のカラー舗装は、最初車で走っていたら気分が悪くなりましたが、なれてしまいました、ので先日三山木(JR)近くの東側、パチンコ店の北側の道路にスピードが出せない舗装がしてありましたので、それの方が良いように感じました。
防賀川緑道が夜になるととても暗く怖い。せめて夜11時頃まで電気をつけてほしい。
バリアフリーに関しては、専門家にバリアフリーを必要とする人々の声を幅広く取り入れて下さい。

施策7:誰もが安全・安心に移動できるまちづくり

- JR・近鉄三山木駅周辺地区における区画整理事業により、市南部の拠点整備と、快適で住みよい住環境の整備を進めました
- 高齢社会を迎え、誰もが自由に市内を行き来できるよう、バス路線の再編や停留所の新設などを行いました
- 近鉄新田辺駅前・JR松井山手駅前のバス停車場に乗り場案内板を設置しました
- 駅前の美観を維持し、歩行者の安全を確保するため、JR京田辺駅に有料駐輪場を整備しました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	3	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	3	4
無職	4	4
その他	4	5

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	3	4

誰もが安全・安心に移動できるまちづくり
高齢者向けバス乗車券を。いつまでも車の運転は、出来ない。アルプラザとタイアップし割引乗車券等をすれば買い物意欲も。
JR京田辺駅に有料駐輪場があってもアルプラザの前に皆駐めるからあまり解決になっていないのでは。
交通量が多いのに、道が1車線しかなかったり、住宅街の通り抜けがみうけられる。道や建物など、もっと考えて作ってほしい、安心して住めない。
有料駐輪場をもっと増やして欲しい。足りないのでは？
バス時刻表を、目の高さにおろしてほしい
三山木区画整理事業内の交通安全対策をしっかりしてほしい(停止位置線等明示他)
近年、自転車側が加害者となる事故が増加しており、危険な走行の啓発を推進して頂きたい。
交通量の増加に伴い、JR京田辺駅から山城大橋に続く道路等、路側が狭く、電柱も障害となり、歩行者、自転車が非常に危険な状況です。安全を確保できるように道路整備をお願いしたい。
高齢者に対応した公共交通の整備が重要との認識をきちんとしてありきたりの施策で終わらずに、公共交通優先を徹底することが大事、現状は、バスで買い物も通院も便利ではない(「行ける」ではなく「便利に行ける」が大事)
京阪バスなど大型バスが片側一車線の細い道を通っているが、乗車客は少なく危険でムダに思う。「誰もが、自由に…」と言うのであれば、小型バスにして小回りをまかせ、もっと本数を多くして欲しい
有料駐車場の整備やバス案内板は、よいと思う。毎日電車で田辺から京都市へ通勤するが、駅周辺は、よい印象を与える市の玄関口と言えると思う。
道の駅をつくるべきである。(京田辺は通過の街と呼ばれる)
高齢化になって車の運転ができなくなっても、買物時に気楽に出かけられるよう、小型バスの巡回運行などを充実させてほしい。
ノンステップバスが増えたのはいいのですが、歩道から離れた位置に停車される事も多く、高齢者には危険です。
京都市の高齢者の様に、京田辺市近辺の乗物の援助を市が行い、高齢者の健康の為外へ向かう事を奨励して頂きたい。
有料駐輪場にしたいけど、その他の場所ですとめてる自転車やバイクが多くなったようにも思うのですが…。以前のように無料でとめれる場所をつくって(今よりも広く)ほしい。有料であってももっと金額を安くしてほしい。
老人福祉センターのバス廃止。民間委託には大賛成。
山手幹線の渋滞解消を。
大きな財源が必要ですが、車道、歩道、自転車道の分離。車優先社会からの脱却、とにかく歩道の確保と自転車が使える街に。それに公園が小さく少ない、もっと緑の公園が欲しい。
有料駐輪250cc以下のバイクもとめられる場所があった方がよいと思います。
本当に市役所までのアクセスは不便だ。山手幹線の延長(同志社大学より南)や2車線化(大住～松井山手の先まで)をお願いします。JR松井山手駅の百円駐輪場は、終電着の時間(AM1:00まで、一歩譲ってAM0:00)まで延長して欲しい。使いたくても使えない。
皆が市役所周辺へ行ける交通手段が大切。
市役所があまりにも不便な場所にあり、年と共に車にのれなくなった時には、どんなに大変になるか不安、便利な所に分室を作ってほしいです。
駅前にパチンコ店があるのは青少年の健全な育成にとって大変有害であり、教育を重視する市としてのイメージを大きく損なっている。駅周辺は市の顔ともいべき場所であり、市民が誇りをもてるようなものとなるよう工夫して頂きたい。

施策8:環境に配慮したまちづくり

- 不法な土砂採取や不法投棄を防止するため、巡回パトロールや監視カメラの増設を行いました
- 温室効果ガスの排出を削減するため、住宅用太陽光発電システム・家庭用燃料電池システム(エネファーム)の設置工事費に助成を行いました
- 市民一斉清掃や資源ごみの集団回収を支援し、市民と協働した環境美化とごみ減量化に取り組みました
- 重要なライフラインとしての上・下水道を、安全に安定して使用し続けるため、上・下水道管の耐震化を進めました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	5

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

環境に配慮したまちづくり
住宅用の太陽パネルの補助をもっと拡大していただきたい。
ゴミ減量化→数値として具体的な成果を明記すべきです。あいまいです。 エネファームの助成→より積極的に行えば、住宅誘致も期待できるはずです。
上下水道の料金が安い
手原川、桃園橋付近は、生活排水又は汚染水排出等(原因は不明)により常態的に泡やヘドロが発生している。下水設備の早期整備が望まれる。
年に一回の一斉清掃だけでは足りない。家族みんなが、(子供達も)日曜日などに公園清掃するなどしたほうがよいと思う。
雨水溜タンク設置工事の助成をして災害時の水確保や節水対策を支援してはどうでしょうか。
資源ごみの集団回収はもっと近くにあれば良いと思う。
一斉清掃今まで全部協力しているが、圧迫感が非常にあり、きつい。
電気自動車の促進をはかるのに各地に充電スポットを設置してほしい。
上・下水道管の耐震化をするのはいいが、その後の道路の舗装が不十分な為アスファルトがはがれていたりする事がある。
307号線の西インターを過ぎた所、左側に不法なゴミが、いつも捨てられている。緑が多いのはいいことだが、歩道、車道に雑草、枝がのびて交通標識が見えない場所もある。またあまり、美化と思えない。
資源ごみですが、缶、ビン、ペットボトルの回収が月1回は、少なすぎる。せめて月2回にして欲しい。
ポイ捨て禁止条例はありますか？ポイ捨て禁止の街とかアピールしてほしい。
アルプラザ横の山田屋とマツモトキヨシの間の広い道はましになってきているが、NY(パーマ屋)から駅前にかけての道の鳥のフンをどうにかして欲しい。
年に一度ある地域清掃の際、高齢者も多いのに重い溝蓋をあけて施行するのは重労働すぎる。器具の貸し出し等、細やかな対策を考えて頂きたい。
取り組みはいいが、結果は良かったのかわからない。取り組みの結果をおしえて欲しい。
まだまだ、汚いところがある。普賢寺川の整備しないと不法投棄が無くならない
工場からの廃液で市民の飲料水が汚染されていないか、工場の排水管理を徹底してほしい。
京田辺市で太陽光パネルを遊休地に設置してはどうか、京田辺は暑いと思われるので。
エネファームの設置助成等の周知が不足しているように思う。(しらなかった)
ペットの散歩が多く、フンや尿が多く今では道路がぐさい。ペット税を設け対応すべきだ。
ごみ問題、水は重要。特に水は、災害時でも確保されるように。子供へのゴミ教育を強化して欲しい。
私有の竹藪放置が多くあるように思われますが竹資源の活用を考えられないか。
市民一斉清掃は不要。自分の会社は自分で清掃する。当然の事。市役所の方とその家族でやれば良い。
ゴミ回収の時間がバラバラで困っている。
【住宅用太陽光発電システム・家庭用燃料電池システムの設置工事費に助成】設置工事の助成は、この文章を読んで初めて知りました。とても残念です。広報に載っていたのでしょうか？月2回の広報は多いと思います。月1回でしたら、ゆつくりと読む時間も取れますが枚数が少なくても月2回はムダだと思います。
公共施設(学校等)の屋上に太陽光発電を設置してはどうか。
設置工事費の助成、公費負担は不公平です。その予算は環境美化ライフラインの保全に回すべきです。

施策9:地域農業の振興

- 田辺ナス・えびいも農家養成塾などを支援し、特産品の担い手確保を進めました
- 若者の新規就農を支援する青年就農給付金制度などを活用し、新規就農者の確保を行いました
- イノシシなどによる農作物被害防止のため、防護柵設置を支援しました
- 全国茶品評会での京田辺玉露日本一に向け、キャッチフレーズの公募やミニのぼり旗の作成などPRを強化するとともに、お茶を考える会への支援を行い茶摘み手を確保しました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	3	4
60 歳代	3	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	3	4
公務員	4	4
農業	4	5
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

地域農業の振興
小学校で地元の農産物を学ぶ機会が多く、(給食などでも) 子供から良いものがたくさんあることを知るが、もっと直売所などを増やして、(三山木にはあるらしいが、遠い) 欲しい。
若者の新規就農を法律面からもサポートしてほしい(土地の売買等)。
青年就農給付金制度などを活用し、新規就農者の確保を行いました…給付金の金額と新規就農者の人数を明記し、コストパフォーマンスについてもよく検討すべきです。大事な税金ですから。一般の民間企業では、費やした経費と、結果については厳しく追及されるものです。「市」ではどうでしょうか。
小中学生への教育(農業体験 etc) への取り組みを検討しては？
様々な施策、キャンペーンが、我々にまで伝わってこない。業界内活動に留まっている印象を有している。
市民が、家庭菜園参加できる様努力してほしい。
農家の人の交通マナーの向上を願いたい(不法駐車や自分勝手な駐車)
道の駅や茶所の魅力あるまちづくりを推進してほしい(例えば京阪、JR宇治駅前のようなもの) 新田辺、京田辺駅前及び一休寺などに設ける。
もっと地元のお茶の葉を、スーパーに置いてほしい。
特産品の認知度が低いと思います。観光等と手を組んでみては
田辺ナス、えびいも、タケノコなど、なかなか一般に手に入らないがもっと手に入りやすくなるとうれしい。もっと PR すべき。
田辺ナス、えびいも、玉露等、田辺特産品のブランド化、食品業界やホテル業界とのコラボレーションの推進。
ニートや引きこもりの若者に体を使った労働の喜びをもっともっと体験させてあげたいと思います。自然から受ける恵みへの感謝をもたせたいです。
休耕地をなくし、就農年齢の引き下げ対策を。農業で収入が良くなるように。
宇治や宇治田原のようにお茶のスイーツを食べられる所が少ない。冷たいスイーツ、パフェ、かき氷、ソフトクリームが売っていない。
ナスにあまり農薬を使用しない方法を市あげて実施してほしい。
農業の活性化は、大規模に集約して企業化するしかないと考える。行政がモデル事業を支援し集約化すべきである。
地元スーパーでの地域農産物の促進販売をしてほしい。もっとPRすべきだと思います。イベントもふやしてほしい。(農業祭 etc)
京田辺市の特産にテコ入れが片寄りすぎ。もっと米づくりに力をそそぐべき。
耕作放棄地の利用、畑さえ借りられたら家庭菜園をやりたい方は多いと思います。市民農園の拡大ともっと安く。
休耕田や後継ぎ等、時代の流れに反している。個々の支援でなく、会社や組織などで有効活用ほか活性化を！
自然環境と同様に農地がある事で自然が保たれている。安全、安心でおいしい農業を推進して頂きたい。
土日祝日に、お茶つみ体験やお茶の入れ方講座を開催して欲しいです。別の地域の(宇治田原)に参加しましたが、他県参加者も多く大人気ですよ。
日本一の産地ですからもっとアピールを広げて、日本一の姿も新聞やテレビが取り上げるようになってほしい。又その経済効果も見たいものです。
人手不足の農家と就農希望者を結びつける登録先はあるのでしょうか?他にも高齢者を含め、農業に興味のある人を対象に、定期的に、地域ごと(小学校の利用等)学習会を開いたり、小学生に見学・体験をさせる機会を増やして、まず地域密着を目指してはどうでしょうか。身近なところにPRが有る方が効果があると思います。又、茶フェスティバル等を行う(料理に取り入れたコンテストをするとか)と宣伝になると思います。

施策10: 商工業の振興によるにぎわいと活力の創出

- にぎわいのある商店街づくりを進めるため、商店街でのイベント開催や空き店舗を活用した事業などに助成を行いました
- 中小企業の経営基盤と競争力を強化するため、新製品の開発や販路開拓等を支援しました
- 中小企業の経営の安定化を図るため、融資保証料補給・利子補給を行いました
- 府道八幡木津線から一休寺までの道路を「一休とんちロード」として整備するなど、「一休さん」の知名度を生かして観光振興を図りました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	3	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	3	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	3	4
30 歳代	3	4
40 歳代	3	4
50 歳代	3	4
60 歳代	3	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	3	4
公務員	3	4
農業	4	4
家事専業	3	4
学生	3	4
非正規雇用	3	4
無職	3	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	3	4
5年以上10年未満	3	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	3	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	3	4
大住地域(松井・大住)	3	4
田辺地域	3	4
草内地域	3	4
三山木地域	3	4
三山木地域(同志社山手)	3	4
普賢寺地域	4	4

商工業の振興によるにぎわいと活力の創出
興戸駅周辺の商業(店舗)の衰退化は激しく、もう少し、店舗継続の出来るまちづくりを希望します。
他の街から移り住んで4年がたちます。これからの施策には好感を持っていますが、もっと工夫すれば効果が大きくなるという思いで見えています。
具体的な施策の結果分析を公表・開示して下さい。例「一休さん」の知名度生かして、観光振興はどの程度進んだのか？
商店街のイベントに関してですが、最近は確かに盛り上がって来たように感じますが、あの付近は狭いので駅の利用者のことも少し考慮して欲しいかなと思います。
「一休とんちロード」もっとスマートに工夫する必要があると思います。東山花灯路等を参考に。
観光に力を入れるならば、京田辺の「みやげ」物づくり、駅に販売所を設ける必要がある。
甘南備山にトイレが1ヶ所しかないので登山口や途中にほしい。菜の花ウォーク、一休ウォークは、宇治スタンプラリー、八幡松花堂ラリーの様に参加費用を無料にしてほしい。
魅力に欠ける。もっと民間の力を利用してはどうか。
新田辺の駅から府道に行くまでの道がわかりにくいと思う。駅から一休寺までわかりやすくするべきではないでしょうか。
観光地化されると住民としては困る。
観光地は一休寺だけですか？道の整備で観光は来ますか？特産品や名物品などとセットにすべきでは？
イベント etc 認知度が低いように思います。もっと宣伝してほしい。一休とんちロードは初めて知りました。
観光はあまりないのか？京田辺産のお茶はどこに売ってるのか正直わからない、もっと宣伝してもいいのでは…
一休寺以外の観光案内の出来る場所を公募してはどうだろう。
商店街でのイベントは大音量で騒々しいものが多いように思います。音量に留意して開催して頂きたいです。
商店街活性化のためには、近鉄、平和堂と連携して週一ぐらいでイベントを行う。
空き店舗を”道の駅”のように毎日、何かしら売っているようにする。食べ物以外にも雑貨を売る日もあったり…
ゆるキャラと会える機会を増やしてほしい。「一休さん」の知名度を生かして、さらなる観光振興を願っています。
田辺商店街の空き店舗に、NPOの喫茶店やカルチャー教室、特に老人が憩える場所の誘致、車の進入は制限。
全国へのPRがまだまだ弱いと感じる。
個人商店をもっと大切に、コンビニ等には、何でも販売しているのに、個人商店は昔ながらの規則にしばりすぎ。
一部の企業を支援するのはよいが、雇用へつながらないのであればムダである。
京田辺はベッドタウン。快適な住環境を整備するべき。商業は他の所に任せれば良い。中小企業に金をバラまくのは反対。競争できる環境、受入れ整備だけすれば良い。
イベント等で地域の活性化を計るのは大切だが、キララ商店街駅前を通行止めにされるのは困る。
昔のアニメ「一休さん」とのコラボは出来ないのでしょうか。子供たちを集めて「一休さんコンテスト」とか、どうでしょう。
にぎわいのある商店街づくりとありますが、活気を無くしたのは地元の人(客)。新しい客を差別した店主の為、新しい人は他に買物に行くようになったのにその人達の為に助成金を出すのはおかしい。
新田辺周辺の商店街は魅力的な店も多いので、駐車設備などがもう少しととのってくれると行きやすくて良い。
ホームページでもいいので、空き店舗マップを作成してから、市民活動の場としてやヘルプステーション、又企業に、助成金を出す前提で公募してはどうか。

施策11:地域経済の活性化に向けた新産業の創出と雇用機会の拡大

- 新名神高速道路の整備等により工業系土地需要の高まりが予測されることから、企業誘致の受け皿整備に向けて、大住地域の工業系土地地区画整理事業に支援を行いました
- 起業家の育成を図るため、同志社大学と連携した起業家育成施設(D-egg)の入居費を一部助成しました
- 商工会や同志社大学などと連携し、事業者が新製品等をPRするビジネスフェアを開きました
- 同志社大学の研究成果と、研究成果の事業化に意欲的な企業とを結びつける産学連携コーディネーターを市内に配置し、新産業を担うベンチャー企業の育成を支援しました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	3	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	3	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	3	4
30 歳代	3	4
40 歳代	3	4
50 歳代	3	4
60 歳代	3	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	3	4
公務員	3	4
農業	4	4
家事専業	3	4
学生	3	4
非正規雇用	3	4
無職	4	4
その他	3	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	3	4
5年以上10年未満	3	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	3	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	3	4
大住地域(松井・大住)	3	4
田辺地域	3	4
草内地域	3	4
三山木地域	3	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	3	4

(施策11:地域経済の活性化に向けた新産業の創出と雇用機会の拡大)

地域経済の活性化に向けた新産業の創出と雇用機会の拡大
起業家へ助成金を使うなら、地元の大学生が就職できるよう支援をお願いします。
京田辺市はベッドタウンとして、自然豊かな、農村風景の残る静かな街づくりをお願いしたい。
市の財源確保に向けて、積極的な企業誘致策が必要。
京田辺市の住民は教育熱心で、元教育者も多いので文化の都市をめざせばどうか？(市民にわかりやすい、なじみ深いものを希望！) 温かな街づくりを！
同志社大学がもっともっと有名になって欲しい、あの山を切り開いてつくった大学です。本当に京田辺市にある同志社大学がある事をもっともっと、ピアールと言うか…研究科とか…もっと有名になって欲しい。折角名の知れた大学なのでもっと京田辺市にある事を知って欲しいです。
さらに雇用の創出になるよう結果の公表をすべきである。
成果はありましたか？大学の卒業生等が京田辺市で職に就かないと成果を得られないのでは？京田辺市の為ですか？
企業をリタイヤした人材を活用する施策で新産業創出を進めてほしい。
新産業創出と言っても市民には知らない人が多いのではないだろうか。
あまりピンとこない…。市に工場などが建ち、栄えるのは大切だが、ダンプカーやトラック等がたくさん道を行き交うのは、子どもの安全や排気ガス等環境の点で懸念も抱く。
市内に雇用の場の確保。
D-egg の内容がいまいちわかりません。もう少し理解しやすいようにアナウンスして頂きたい。
税収入増加の為、企業誘致に力を入れてほしい。
企業誘致の為に思い切った優遇措置を取るべき。10 年先を考えた、特別な措置を取る。中途半端はダメ。
新名神や工業地域の拡大に反対。35年前田辺に引っ越してきたのは、豊かな自然環境を求めてでした。排気ガスで汚れた街はゴメンです。
事業の内容がPRされていないと思う。
雇用拡大へ向けた支援を行っていただきたい。一部の企業を支援するのはよいが、雇用へつながらないのであればムダである。
第2京阪の完成もあったことから、物流を中心とした産業、業務の集積も考えてはどうか、工業もあってもいいが…。
チマチマやらず、企業団地等の開発し、そこで活動的企業を支援する。
育成に対する支援は、重要だが経過の見極めがもっと重要。
全体としてはビジネスとして、それぞれが企業努力して自立して頂きたい。市政としてはあくまでも補助的な範囲で…！！
折角、同志社大学、理工系が市内にあるのに、その活用が不十分。積極的に産学連携を図られたい。
【地域の工業系土地区画整理事業に支援】製造業ではなく知的産業を！
【同志社大学と連携した起業家育成施設(D-egg)の入居費を一部助成】何のことか。
【産業連携コーディネーターを市内に配置】どこか？
新名神の道路工事で多くの竹林等がうしなわれたが、この空地や道路の防音遮光壁を利用した太陽光発電等により、市民や町内企業に還元してはどうか。
市内での企業創出や市民の雇用拡大の数値目標を設定し、施策を検討する必要がある。
市の立地条件を活かして、企業誘致に取り組むべき。

施策12: 豊かな自然の保全と緑の再生

- 緑豊かな環境を守り続けるため、甘南備山でのナラ枯れ対策を行うとともに、民間企業等とモデルフォレスト協定を結び、官民一体で里山の保全を図りました
- 市内各所の公園で危険な遊具を撤去し、地域のニーズに合わせた新たな遊具を配置しました
- アダプト制度(里親制度)を導入し、公園・緑地管理を行う市民・団体へ支援を行いました
- 同志社山手地区に、災害用トイレやかまどベンチなど、防災拠点としての機能を備えた近隣公園を整備しました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	3	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	3	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	3	4

豊かな自然の保全と緑の再生
知らない事が多く災害用トイレなど重要なのに全然知りませんでした。
健康維持のため地元の甘南備山へ登りたいと思うのですが、一人では危険だと言われます。安全対策(対人間)が出来ないのでし ょうか。
松井ヶ丘中央公園等、フェンスの無い公園は子どもが飛び出て危ない。
京田辺市に本格的な大きな公園を造ってもらいたい。
災害用トイレやかまどベンチなど、他の地区にも整備してほしい。
公園に手洗い場がほしい。公園の土を水はけのいいものにしてほしい。(土がえぐれて穴になっている所があり水がたまる)
同志社大学プールや施設を市民に開放してほしい。
木津川堤防自転車のロードの横につくられた公園、遊具の利用度が殆どなく、アピールが足りないのではと思われます。公園内に 樹木を植えすぎます。
街中の公園で子供が安心して遊べるよう(清潔な場所になるよう)ペットを立入らせない箇所をつくってほしい。
こわれた遊具を撤去するのはいいが、危険だからとすべり台が無くなったりは困る。ケガをしても体を使ってそれを学ぶ事が子供に は重要。
河川敷や噴水など水で遊べる公園があればいいと思う。
一休寺近辺野山(里山)が削られ、景観が大きくかわったのは転入者の目から見ても悲しいものがある。なんとかあの大きな削り方 はストップできなかったのか悔やまれる。遊具の点検はありがたい。
公園はいつもきれいに整備されているので気持ち良く使っていますが、日よけ、雨よけできるものがあまりないので熱中症が心配で す。
里山保全は重要な事業です。もっと市民や学生(小中高大)の参加を求めるべきです。
公園には極力トイレの設置(保安対策)
市内の全川沿いを散歩コースとして整備してほしい。
全ての地区の公園を防災拠点と考え、災害用トイレ、かまど、テント設置を整備するべき。
同志社山手の公園は遊具も少なく、日陰が少ない(低木ばかり)。ブランコがないのは危険遊具だという考えからか？正しい使い方 を教えるのも大人の役目。メンテナンスが楽なものばかり置いていることはないですか。
木津川土堤の遊歩道に桜づつみ公園の様に、桜や梅等の植樹をもっとふやしてはどうかと考えますが…
虚空蔵谷川沿いの桜並木の管理に力をつくしてほしい。
最近の公園は「〇〇〇をしてはいけない」ばかりで、何も出来ない所が多い気がする。自由に動物も連れて行けるような公園も欲し いと思う。
普賢寺地域の公園は全く整備されていない。
バーベキューをしたり、家族で楽しめる公園を。
遊具が少なく子どもの遊び場が満足できない。せっかく公園があってもボール遊びが禁止など使用しづらい。
放置竹林の有効活用が必要。
犬の散歩時の、フンの持ち帰りの徹底。(罰則)
充分な駐車場を併設した(有料でもいいから)大きな公園があるといいなと思う。
市南部の山間地に、自然を活かした大きな公園をつくってはどうか。

施策13:心豊かな子どもを育てる教育の推進

- 平成25年度の完了を目標に、学校施設の耐震補強工事を計画的に進めました
- 中学校の教室に空調設備を設置し、生徒の良好な教育環境を整備しました
- 保護者や地域の方々による「子ども見守り隊」の活動に支援し、通学路の安全確保に努めました
- 小・中学校に図書館司書を配置し、児童生徒が図書に親しめるよう取り組みました
- 南部地域での児童数増加に対応するため、三山木小学校の校舎増築を進めました
- 生活様式の変化に対応するため、各小学校のトイレに洋式トイレを導入しました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	4	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	4	4
自営業	4	4
公務員	4	4
農業	4	5
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	4	4
無職	4	4
その他	4	5

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	4	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	5
普賢寺地域	4	4

心豊かな子どもを育てる教育の推進
図書室の貸し出しをバーコードに。司書は1校につき1人常駐で。洋式トイレを増やし、校舎の老朽化も改築して欲しい。
中学校の給食化を進めて欲しい。共働きやシングルの家庭が増えてきているので、弁当作りが負担になる為。
同志社山手内の小、中学校建設を早急に検討してほしい。可能になれば、同志社山手はもっともニーズの多い街になると思う。(居住者が増える)
食(給食)の安全対策として、給食の材料や添加物の見直しを期待します。
英語補助教員の充実と小学生からの英語教育の充実。
中学校にプールをつくってほしい。
大住中学校の自転車通学を許可して欲しい、土地が開発され学校が遠い。
生活様式の変化に対応する事よりも、身障者用のためにある洋式トイレを温水洗浄便座にするべきだと思います。
田辺中学のレベル(学力面)をもっと上げて欲しい。
暑さが年々増しているので、小学校にも空調設備をお願いします。
校門前横断歩道前に徐行の文字を大きく入れてほしい。
図書館の整備を希望。本の種類や分野等が古過ぎる。
山手南、山手西の児童の通学が困難に思えます。小学校を新設する計画があったと聞きましたが、今実現しなければ意味がないのでは。
今、重要なのは、いじめ対策だと思います。外側(建物)も大事ですが内側(いじめ問題の専門相談員?)にお金をかけてほしい。学校側と保護者側が互いに協力し合って解決できるよう日頃から情報交換をし信頼できる間柄であってほしいです。
住宅建設にともない、子供の数も増えていると思いますが、共働きも増加している事も現状として考えていただき、保護者が地域、学校の役員制度がずいぶん負担となっていると思います。
ハード面だけでなく、教育のソフト面の一層の充実。学力、道徳、体力、競争力の向上、国際交流など
大住小学校は人数が少ない、桃園小学校は人数が多い。これらをうまく調整出来ない
大切な子供達の安全を高める為、交通安全の教育に力を入れてほしい。
田辺中学の自転車通学の子らが、右側通行をしていることに、学校の指導はどうなのか?安全な通学とは言えない。
外国との、提携都市をふやし、交流をもっとさかんにしていき、異文化にふれる Chance を増やしてほしい。
教員が子どもに目を届けやすいよう、補助教員の数を増やすなどの工夫を検討してはどうか。
副担任制あるいは1年に導入されている支援者を全学年(小)に入れては
市立中学校に、給食を導入して下さい。市立小・中学校のPTAは入退会自由の任意団体ですが、そのことが周知されておらず、義務だと誤解させられている保護者が非常に多いです。任意であることを周知するよう、市から指導して下さい。
南部地区はまだまだ児童数が増える中、保育園(幼)小、中の増築だけで対応できるのか、不安に思う。
中学生により良いまちづくりのための方策を考えるプロジェクトは如何。各中学校に設置し年一回発表会をさせる。
通学途中の小学生ですが、自分達で安全確認をしません。遊びながら話しながら集団で我が者顔です。見守りの人達が車や自転車を止めてくれるので頼りきっている様にみえます。
ハード面も大事ですが、情緒を育てる取り組みも期待します。高齢者の活用や地域との関わりを強めるようなものがあればと思います。
小、中の学区の見直しをしてほしい。 薪小→田辺中(一部の地域だけが中住)色々理由はあってもかもしれませんが、少数人だけが、ちがう中学になるのは、かわいそうです。

施策14:誰でも自由に学べるまちづくり

- 「子どもの居場所づくり」や「放課後子どもプラン」など、地域の方々と子どもたちが安全・安心に交流できる場を整えました
- 市民の自主的な生涯学習を支援するため、大学のあるまちの特色を生かした「京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ」など、各種講座を開催しました
- 市民が図書に親しめる機会を増やすため、移動図書館の巡回箇所を拡大しました
- 市民の文化活動を支援するため、市外の舞台ホールを利用し市民が合唱・合奏・演劇などの舞台発表を行う場合に、助成を行いました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	4	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	4	4
30 歳代	4	4
40 歳代	4	4
50 歳代	3	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	3	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	4	4
非正規雇用	3	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

誰でも自由に学べるまちづくり
城陽市の図書館(文パル内等)の本は、充実していて本もきれいです。京田辺市の本は古すぎるもの多く新しい本きれいな本も入れて下さい。
移動図書館があることを知りませんでした。もっとPRして欲しいと思いました。
京田辺の人たちが、京田辺で文化活動を発表できる場が出来れば、活動を行う人もそれを見に行く人も増えていくのではと思う。
図書館の休館は止めるべき、職員の交代制で出来ないか。
「同志社ヒューマンカレッジ」は参加したことはありませんが、いつも魅力的な事業だと思って見えています。もう少し良い文化施設があればと思います。
宝生苑に図書を置いて欲しい。
私の回りの人達との会話の中での話ですが、午前中パートで働いている人が多く、市の生涯学習を利用したいが、ほとんど午前中の活動で利用できないという話をしています。働いている方々のことを考え、午後から夜にかけての利用時間の検討をお願いします。
塾などに行けない子達に、元教員の方が学習指導など。
子供と老人の交流など、市民が元気になれる暮らしの提案と、場所を提供していただきたい。
図書館等に学習のためのスペース(自習室など)をつくってほしい。閲覧室では勉強ができないので。
高齢者向けの「生涯学習」の充実を。例えば趣味(俳句、短歌とか)の講座でも。
親子教室やイベントが平日に多い、土日祝もしてほしい。
京たなべ、同志社ヒューマンカレッジも事前申し込みが要り、大学が京田辺市にあっても市民にメリットは少ない、いつでも何か講座を受けられるようにしてほしい。(有料でも)
各種サークル活動やボランティア活動をもっとPRして、市民の参加を拡大すべき。
大体平日の昼間なので利用出来ない。
高齢者が増加する中で、ヒューマンカレッジ等の生涯学習に更なる尽力を頂きたい。
「放課後子どもプラン」は高学年も楽しめるように工夫しないと参加者が少ない。
放課後～19時半までに集まって昔の映画などを見る会や、漫画、絵本を読む会、古典、論語を音読する会などがあればカギっ子の子供はあきないかなと思います。カギっ子は、17時から親が帰ってくる時間までの間、家で親に心配かけないように大人しくしています。TVはニュースばかりでつまらない。近所は晩ご飯時間で友人と遊べない。宿題一人ぼっちでする気ない。そんな子の居場所があればなあと思いました。
駅前に図書の回収箱等設置して下さい。
土日に参加できる生涯学習やサークルが少ない。
同志社大学のホールを活用するなど、同志社との連携を図る方が有効だと思う。
中高年の地域での活動を活発化するために、小学校などをもっと活用してはどうか。
市民が利用する図書館を週に1日でもPM8:00迄利用出来るようお願いします。会社から帰宅してからでも利用出来るようにして下さい。
文化活動などは、一部の人達でやっている印象をうけます。
要望を募って参加者が定員ぐらいになった所だけにしてほしい。
普賢寺幼稚園の終わる時間が早く働く人にとっては入園出来ないと聞きます。仕事と育児が両立出来ない為次の世代が出て行くことになってしまっています。

施策15:生涯を通じて文化・スポーツに親しめるまちづくり

- 地域の歴史文化への理解を深め、後世へ伝えていくため、筒城宮遷都1500年記念イベントを開催しました
- 市民が文化に触れる機会を拡大し、文化活動を充実させるため、「国民文化祭」をきっかけとして優れた芸術の鑑賞機会を設けました
- 「京たなべ・同志社スポーツクラブ」の種目を増やすなど、スポーツ教室を充実させました
- 高齢者の体力を維持するための「元気はつらつ教室」や、障がいのある人のスポーツ大会「友遊フェスタ」など、誰もがスポーツに親しめるような取り組みを継続して行いました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	4	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	3	4
30 歳代	4	4
40 歳代	3	4
50 歳代	3	4
60 歳代	4	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	4
自営業	3	4
公務員	4	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	3	4
非正規雇用	3	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	4	4
5年以上10年未満	4	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	4	4
大住地域(松井・大住)	4	4
田辺地域	4	4
草内地域	4	4
三山木地域	4	4
三山木地域(同志社山手)	4	4
普賢寺地域	4	4

生涯を通じて文化・スポーツに親しめるまちづくり
仕事を持った者でも参加しやすい曜日、時間になかなか参加したいものがないので種類を増やしてほしいです。(ヨガ、料理教室など)
京田辺市でのスポーツクラブはとても良い事なので色々として欲しいです。運転の出来ない人に不便で行くことが出来ないのもあり。バスで巡回して頂ければ、もう少し助かる事あり。
同志社スポーツクラブは料金の割に内容がうすっぺらいことが気になります。体験が目的ならば保護者も付いてますので無償で良いのでは？スポ少の保険の方が早いです。
同志社女子大音楽科コンサート参加をふやしてほしい。同志社女子大薬学科薬草園などの見学会してほしい。
子供でも気楽に行ける美術館が近場に欲しい。
KDSCの会員ですが、もっと中高年者にも参加できる種目を増やして頂きたい。
障害者の支援ばかりではなく、自立を促す政策も進める。
ハンドボールばかりの印象。それも、ごく一部。社会人が参加できる、夜間のスポーツ教室などを検討して欲しい。
ニチダイ硬式野球部との交流。
高齢者の体力維持の為にスポーツ教室だけではなく中年も対象にスポーツ教室、ヨガ、気功など気楽に参加できる教室を増やしてほしい。
同志社や市の行事は、参加する人が同じ顔ぶれが多く面白味に欠ける。
地域の歴史文化を充実させるためには先ず、歴史文化資料館を建設すること。拠点がないと前に進まない。
自分にニーズのない内容なのでピンとこない。幼児子供向けのスポーツ教室が充実していると習い事でお金がかかる世代には自治体の主催は安いので大変助かるのでは。
防賀川公園のテニスコートの防風ネット全面に張って欲しい。
開発から文化財をしっかりと保護してほしい。
スポーツ施設等については、全市民が使用するわけではないので、適正な使用料の設定をするべき。
KDSCのスポーツ教室は、ものによって内容に満足できないものもあるし、他市と比べて、高いと思われます。
スポンサーをあつめて、マラソンをしたい。ムリなら、交野、京田辺、とか2, 3コの街合同で。
市立のスポーツジムのPR、説明が足りない。設備の充実を要望します。
高齢者と障がい者は同じと思われる所あり。高齢者と一緒にあるスポーツに参加。障がい者は出来なくて立っているのに、高齢者の人にヒドイ差別された。(ののしられた)まだまだ理解されてないようだ。
スポーツ教室、障がい者の年5回と云わずにもう少しふやしてほしい！
もっと参加しやすいスポーツを。
文化やスポーツに親しめる為には、人々がよりつどうグラウンドや体育館アクセスの整備をもっとやってもらいたい。
広報紙などでまちの伝統的な祭りなどの紹介が多かったのは良いと思う。是非行ってみたいと思えた。
同志社大学生とのコラボによるスポーツ行事を数多く実施してほしい。同大のスポーツ施設が市民に気楽に利用出来たら良いが。
高齢者の教室は、地域ごとに開いてほしい。
薬膳や東洋医学を学ぶ教室を開いて下さい。レストランあわさいの方が同志社大学で薬膳を生徒さんに教えておられます。
精華町のように自治会対抗市民体育祭をやったらどうでしょう。やってほしい。

施策16: つながりによる地域力の創造

- まちづくりに主体的に参加する人材を育成するため、市民活動のノウハウを習得する講座を開催したほか、市民活動団体への支援を継続して行いました
- 市長が市民と直接語り合い、市民の声を市政に反映させるため、「茶々とサロン」を開催しました
- 広く市民の声をまちづくりに生かすため、インターネットを使った市民モニター制度を始めました
- まちづくりの重要なパートナーである同志社大学とのさらなる連携を図るため、京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ、大学生によるスポーツ指導、留学生との交流事業などを行いました

I. 全体結果分析

	満足度	重要度
全体評価	4	4

II. 男女別結果分析

性別	満足度	重要度
男性	3	4
女性	3	4

III. 年齢階層別結果分析

年齢区分	満足度	重要度
20 歳代	3	4
30 歳代	3	4
40 歳代	3	3
50 歳代	3	3
60 歳代	3	4
70 歳以上	4	4

IV. 職業別結果分析

職業区分	満足度	重要度
会社員	3	3
自営業	3	3
公務員	3	4
農業	4	4
家事専業	4	4
学生	3	4
非正規雇用	3	4
無職	4	4
その他	4	4

V. 居住年数別結果分析

居住年数	満足度	重要度
5年未満	3	4
5年以上10年未満	3	4
10年以上20年未満	3	4
20年以上	4	4

VI. 地域別結果分析

居住地域	満足度	重要度
大住地域(山手・松井ヶ丘・花住坂・大住ヶ丘)	3	4
大住地域(松井・大住)	3	4
田辺地域	4	4
草内地域	3	4
三山木地域	3	4
三山木地域(同志社山手)	3	4
普賢寺地域	4	4

つながりによる地域力の創造
まちづくりに主体的に参画する人材を本気で育成したいなら市職員の人事を考え直すべき。
我々は市役所が大事です。余りかわりがなくて…年齢的に行きにくい所です。もう少し明るく対応して下さい。最近は少しはよくなっているかなー。理解したいと思って行った時は明るく答えて下さい。
同志社大学との連携をより以上強化し、スマートな若者のクールな意見を取り入れるさらなる工夫が必要と考えます。
市民の一部としか関わられてないのでは？今回のアンケートのように幅広く定期的に意見を伝えられる方法がよい。
“市民モニター制度開始”以外は全く不必要！
形骸化している感があり、市民の意見を反映というものの1部の団体、企業の意見にかたよっている気がする。
大学生にとっても、京田辺市は居心地が良いまちと思ってもらえるようなまちづくりも必要。
人為的に交流するのではなく、よい施設やイベントで自然に交流できればよい。
「茶々とサロン」これは良いことと思いますが、これを含め、市民へのイベント等のアピール不足だと思います。
施策は、まったく市民に浸透していない。広報紙を見ていないからだろうが、認知度を調べて、どうすれば認知度が上がるか考えたらどうだろう。
同志社大学の公開講座の参加人数を増やしてほしい。
ヒューマンカレッジは、種類をもっと増やして欲しい。(受講コース)
同志社大学があるので、留学生との国際交流(留学生とのイベント・意見交換交流会、キャンプ、お祭り etc)をしてほしい。
留学生との交流はこれからの社会においても重要かつ必要だと思います。子供の頃からネイティブな英語を身につける為にも、もっと交流が必要だと思います。
市職員の資質向上やスキル向上を望みます。良き人材は市の宝です。
同志社大学との交流の場をもっと増やしては、あまり周知されてない様に思う。
参加するのは興味のある一部の市民だけだと思う。知らない人は全く知らない。
京田辺は、地域、地域によって、独特の交流をしています。広域交流となると、かなりの工夫が必要です。
市長が色々な所に顔を出してくれるのは、嬉しい
真の協働のためには、自立した市民の存在が不可欠、そのための講座など啓発の充実を。
取り組んでおられる内容をしらなかった。
住民目線で色々な情報をとらえ、市民に参画して頂く事は、市政を考えて頂く良いチャンスと思う。住民とつながりによる地域力を推進して下さい。
【市民活動のノウハウを習得する講座を開催、市民活動団体への支援】【茶々とサロン】【市民モニター制度】「主体的に参画する人材」の育成成功例を広告し人材の裾野が広がるようにして下さい。
【京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ、大学生によるスポーツ指導、留学生との交流事業】ぜひとも交流を図って下さい。
お年寄りの生の声は、はたしてインターネットを通じて届いているのでしょうか。
一部の市民の声がクローズアップされてとりあげられることのないよう、幅広い意見の収集を行って頂きたい。
「市民参画」という言葉に酔い行政のパフォーマンスに終わってはいけないと思う。職員側が地域に出向き、ともに汗を流すという姿勢こそが重要。
若い人達が地元の為に力を発揮できる場をつくってあげて下さい。

その他の意見・提言
全体としてむつかしすぎた。
私は、80歳代ですがこんな調査は、60歳代迄にしたらと思います。未来の無い老人より若者の意見が大事です郷土の発展は祈っています。
取組み内容はどれも良いことばかりと受け取れる。個人として関与していない事項は、空気みたいなもので必要を感じたときその有難さが判るものであろう。又、これらの取組が、実際にどのような成果を出しているのかが重要である。表面的には立派でも、実は何もなく、税金だけが消えていたという事例を多く見せられている。
私は、田辺公園の近くに住んでいますが、毎朝犬と散歩していて、素晴らしい環境に満足しています。竹の脇池で、釣りをする人を見かけますが子供がまねをして危険です。取り締まりをお願いします。
高齢者の増加による暮らしの変化など、市民の声を捉える機会を様々な方法で作ってほしい。
ここ数年京田辺市の財政は悪化しているように思う、広報を見ていて思います。住みよいまちづくりには財政が上向きになる必要があります。市長を先頭に頑張っていますが、議会ももっと協力してほしいです。市長や職員の給料カットを見ました。残りは、市議会議員です。高すぎる議員報酬のカットを一市民として強く意見します。
今回の調査のように、幅広い意見を調査する事は重要であると思うので、今後もこのように調査を継続してほしい。
今回のアンケート調査で京田辺市がこの様な取り組みを行っていることを知りました。私も日常的にこのような市の取り組みを知る努力をしていないこともあるとは思いますが、もっと多くの人が日々の生活の中で知れる機会を作ることも大切だと思いました。すばらしい活動を多くしていると感じたので、もっと多くの人に知ってもらえればと思いました。(私のように知らない人も多いと思うので)
今回のこのアンケート《取り組んだ事》は、記載されていますが、取り組んだ結果(例えば、何人参加したか等)を数字であげていただけると、アンケートに答える事がしやすいのですが…実際、私は認識していなかった取り組みが多くあり、市民の方々も認知していないのでは…と疑問を感じます。
窓口(電話受付含む)の対応もていねいにしてもらいたい。また平日 18～19 時までや休日の対応も検討してほしい。
全てにおいて、広報活動が不足していると思う。
京田辺市に来てから、広報などでみていますが、活気があり、市の方も力を入れて頑張っておられるのがよくわかります。これからもよろしくお願いします。
京田辺市は住みにくい、市役所、社協交通の便悪く、介護支援など受けるにしても、形だけ。もう少し家族を見て欲しい。介護者の為のサロンみたいなのが、社協で月1回ありますが家に認知者がいると参加できません。「旅行などあります」とみるだけで気が悪くなります。
このアンケートには、関係ないのですが、ボランティアで組長をしています。市よりの広報が月2回、必ず来ますが配布するのにかなりの負担になっています。又、2～3枚の広報ですが、以前の様に月1回となった方が広報としての重要性もあると思います。少ない枚数なのでつい目を通す程度になって、内容を見落としします。1回の広報配布に何人のボランティアが時間と労力を費やしているか、深く考えていただきたいです。
全体的に目指している内容や実施されていることに市民の1人としてほぼ満足しています。今日までこのコミュニティを築いてこられた高齢者の方々が長生きして良かったと、また、未来ある子供達がこの地に生まれて良かったと思える様にハード面だけでなく今以上に精神的な、たのしみ(文化面、スポーツ面)のソフト面でも温かく見守り行政としても力を入れた施策に期待しています。
今回の調査を単なる「やっただけ」の統計的分析に終わらせるのではなく、政策的な合理化につなげていただくよう切に希望したい。